

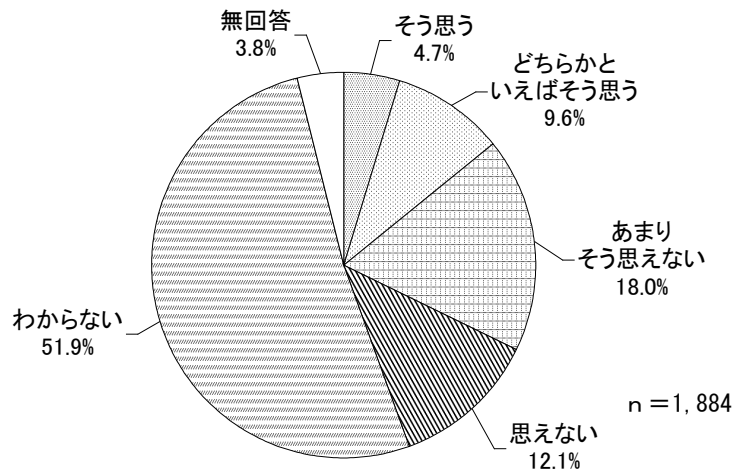
## 6.「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

### 6-1 市民協働の推進状況

◇『そう思う』は1割台半ば

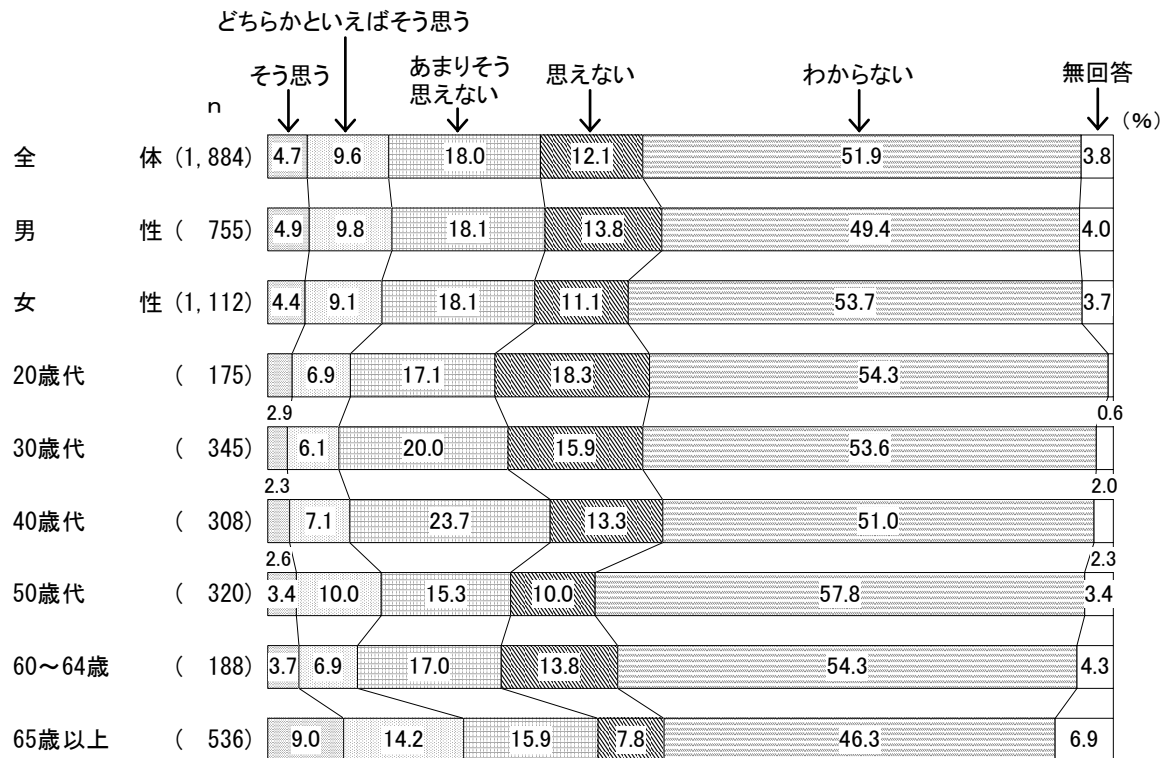
問21 あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。(○は1つだけ)

図6-1-1



市が市民協働のまちを進めていると感じるかどうか聞いたところ、「そう思う」は4.7%にとどまり、「どちらかといえばそう思う」(9.6%)と合わせた『そう思う』は1割台半ば(14.3%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(18.0%)と「思えない」(12.1%)を合わせた『思えない』は約3割(30.1%)となっている。(図6-1-1)

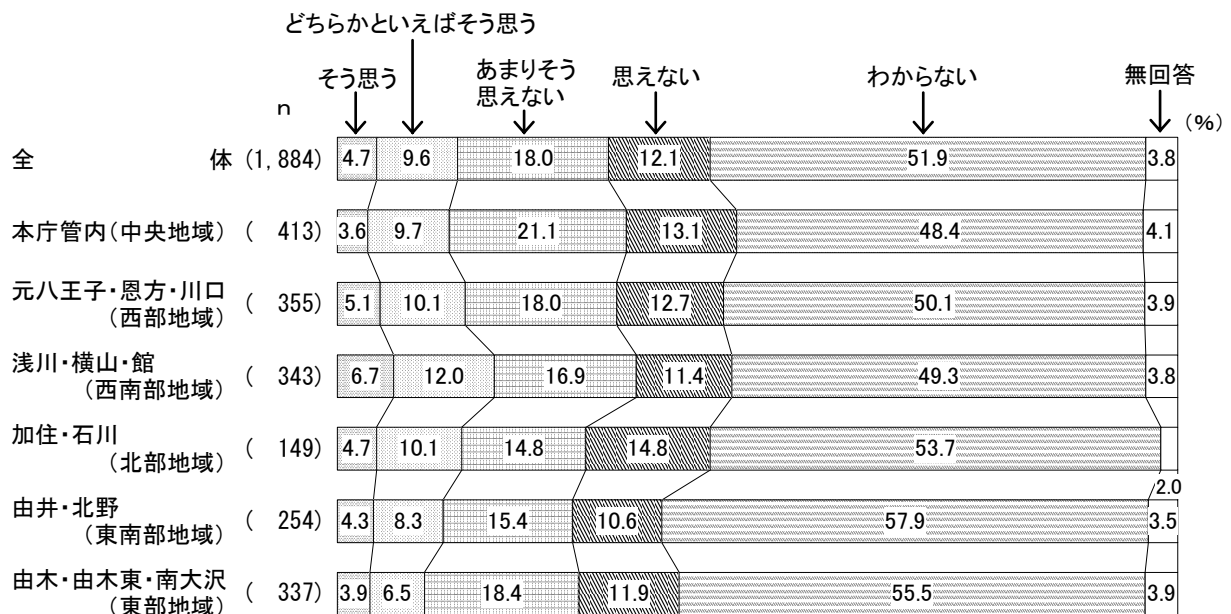
図 6-1-2 市民協働の推進状況－性別・年齢別



性別にみると、「思えない」は男性のほうが2.7ポイント高く、「わからない」は女性のほうが4.3ポイント高い。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上で2割を超え、高くなっている。(図6-1-2)

図 6-1-3 市民協働の推進状況－居住地域別



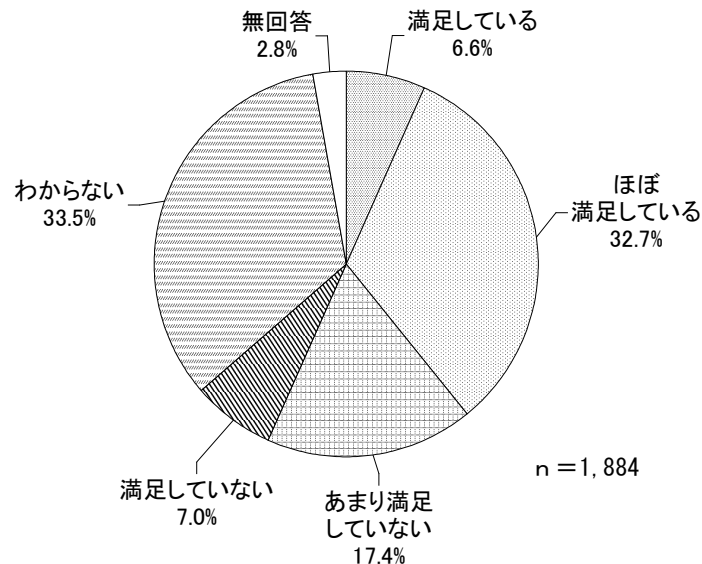
居住地域別にみると、『そう思う』は浅川・横山・館（西南部地域）で2割弱（18.7%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で約1割（10.4%）と最も低くなっている。(図6-1-3)

## 6－2 現在の市政情報入手方法の満足度

◇『満足』が4割弱

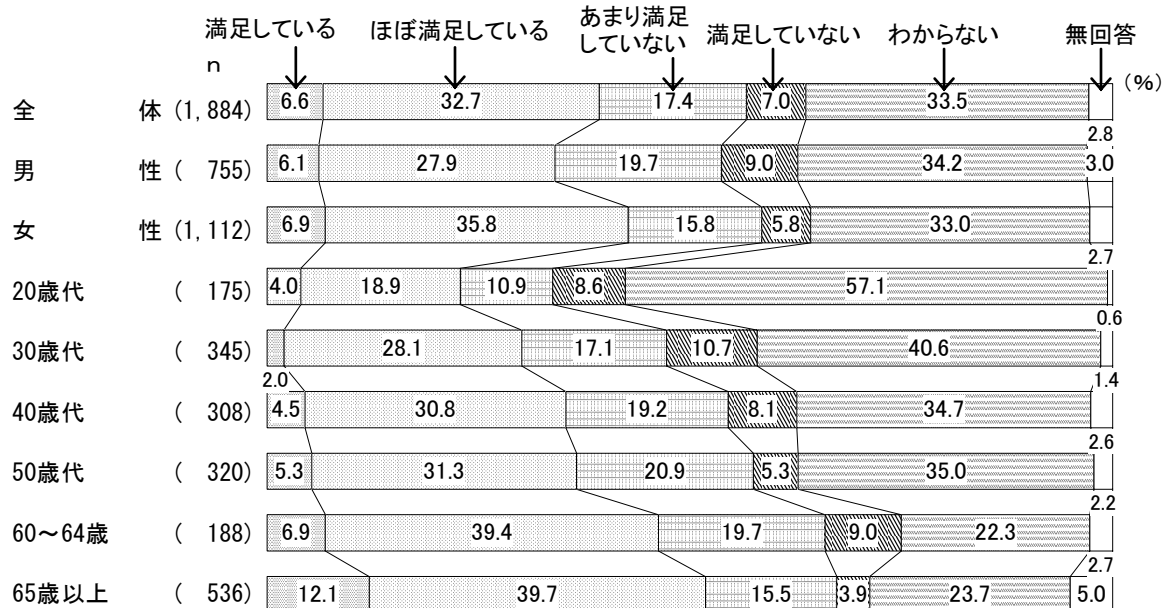
問22 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。(○は1つだけ)

図6－2－1



現在の市政情報入手方法の満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」は3割強（32.7%）と最も高く、「満足している」（6.6%）と合わせた『満足』は4割弱（39.3%）となっている。一方、「あまり満足していない」（17.4%）と「満足していない」（7.0%）を合わせた『満足していない』は、2割台半ば（24.4%）となっている。（図6－2－1）

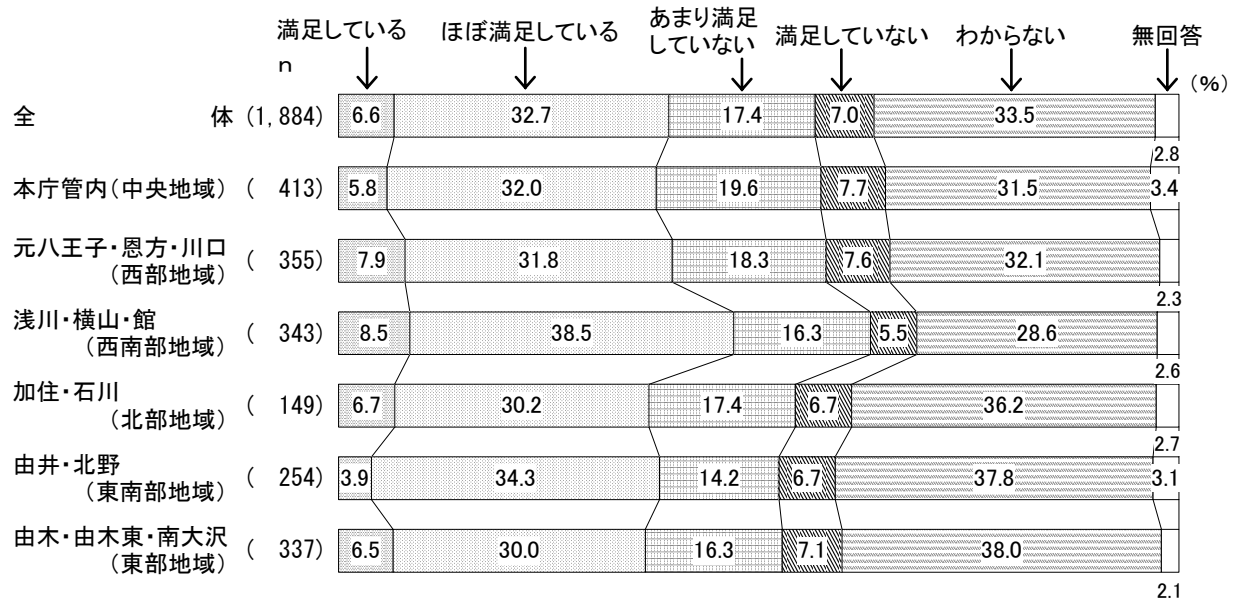
図6－2－2 現在の市政情報入手方法の満足度－性別・年齢別



性別にみると、『満足』は女性のほうが8.7ポイント高い。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上で5割強と高くなっている。（図6－2－2）

図 6－2－3 現在の市政情報入手方法の満足度－居住地域別



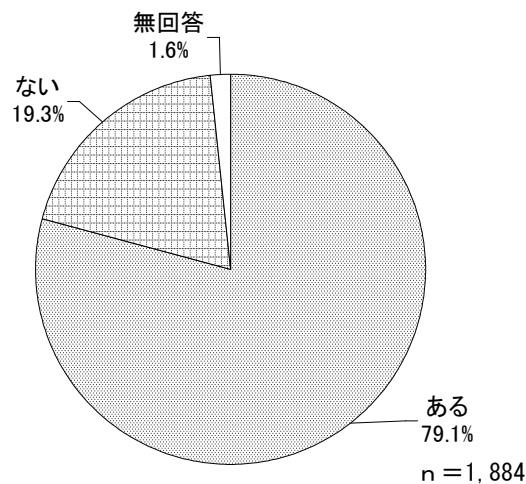
居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）で『満足』が4割台半ば（47.0%）と他の地域に比べ高くなっている。（図6－2－3）

### 6－3 市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は大多数の8割弱

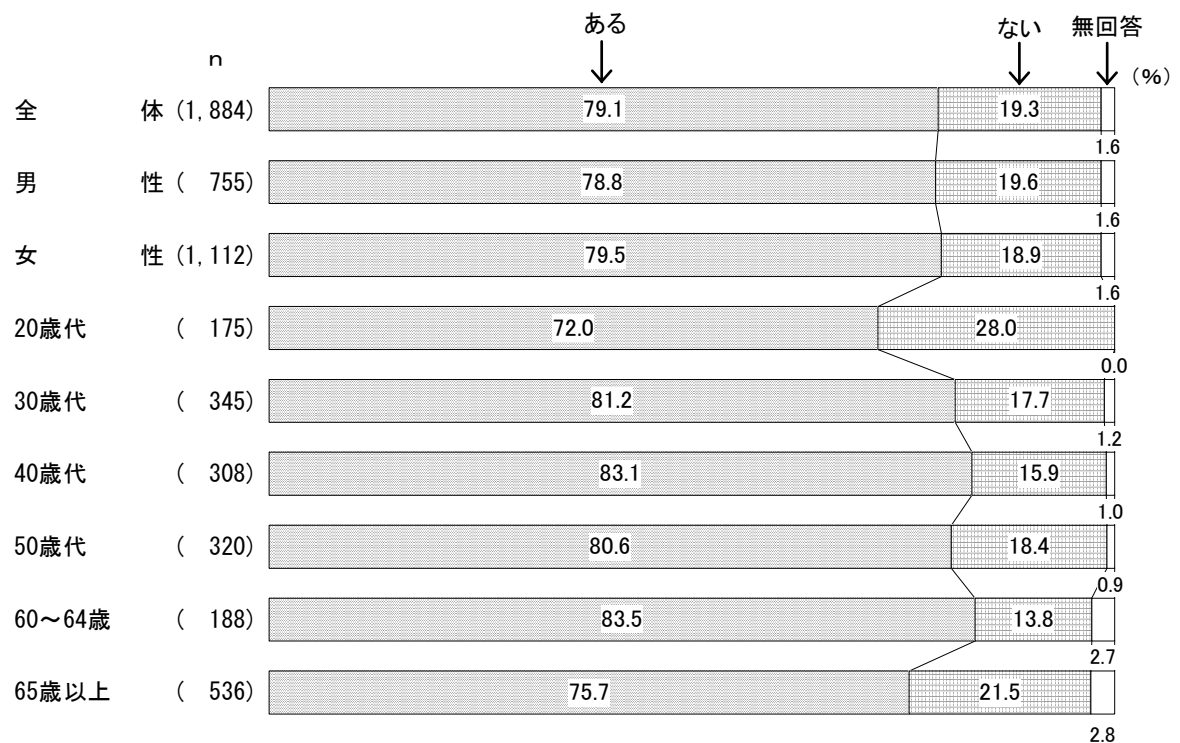
問23 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ)

図6－3－1



この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」が大多数の8割弱（79.1%）を占め、「ない」は2割弱（19.3%）となっている。（図6－3－1）

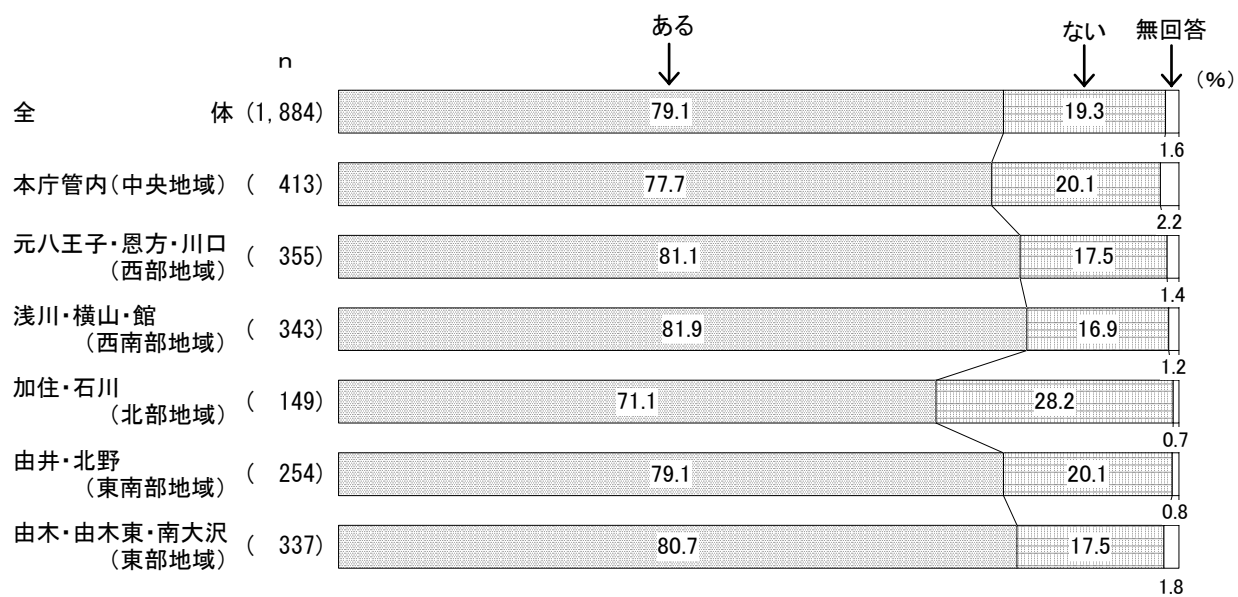
図6－3－2 市の窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、「ある」は20歳代と65歳以上を除き、8割を超えている。（図6－3－2）

図 6－3－3 市の窓口の利用の有無－居住地地域別



居住地地域別にみると、「ある」はすべての地域で7割を超えている。(図 6－3－3)

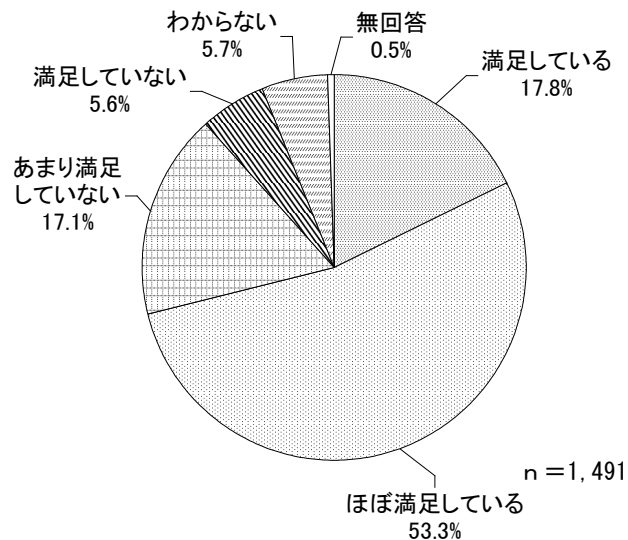
## 6-4 市の窓口サービスの満足度

◇『満足』が7割強を占める

(問23で「ある」とお答えの方に)

問23-1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。(○は1つだけ)

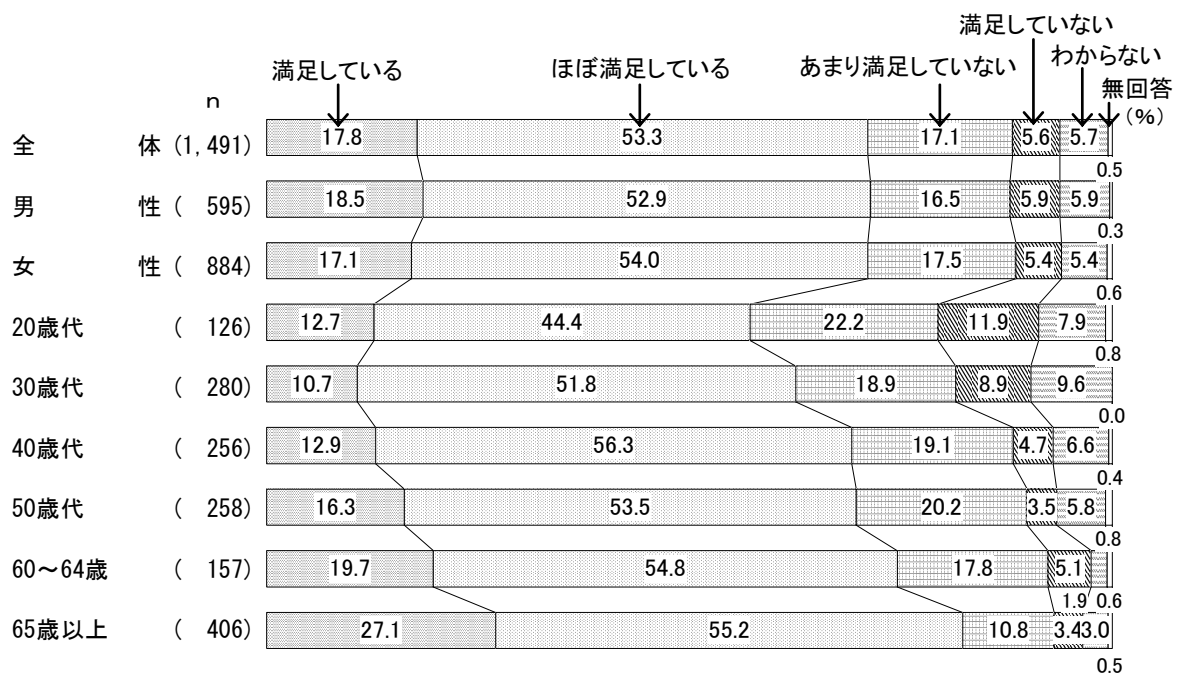
図6-4-1



この1年間で市の窓口の利用が「ある」(1,491人)と答えた人に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が5割強(53.3%)と最も高く、「満足している」(17.8%)と合わせた『満足』は7割強(71.1%)となっている。「あまり満足していない」(17.1%)と「満足していない」(5.6%)を合わせた『満足していない』は2割強(22.7%)となっている。

(図6-4-1)

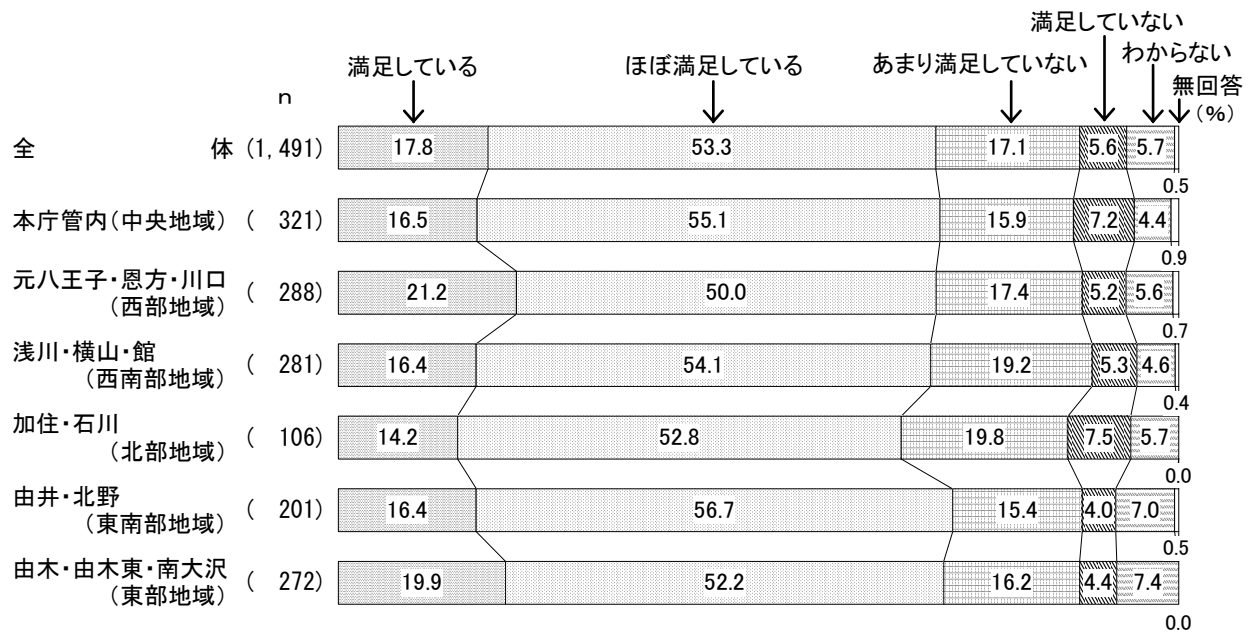
図6-4-2 市の窓口サービスの満足度-性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど『満足』の割合が高くなる傾向がみられる。(図6-4-2)

図 6－4－3 市の窓口サービスの満足度－居住地域別



居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）で『満足』が6割台半ば（67.0%）と、他の地域に比べて低くなっている。（図 6－4－3）

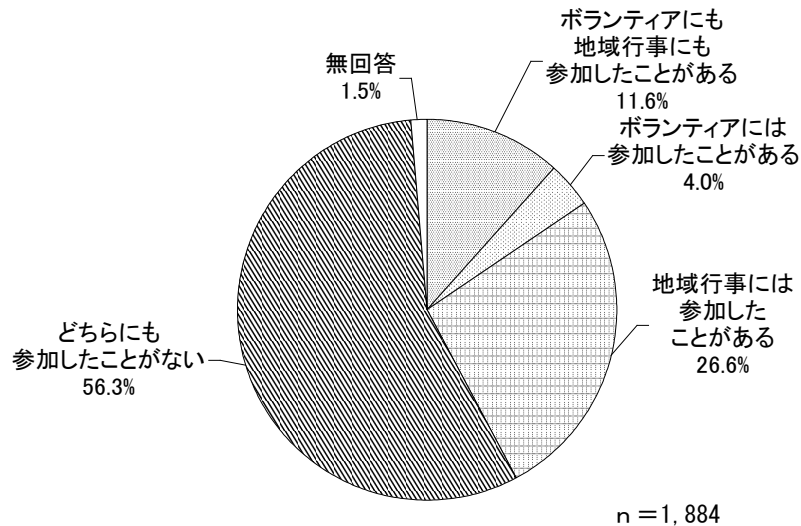


## 6-5 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割強

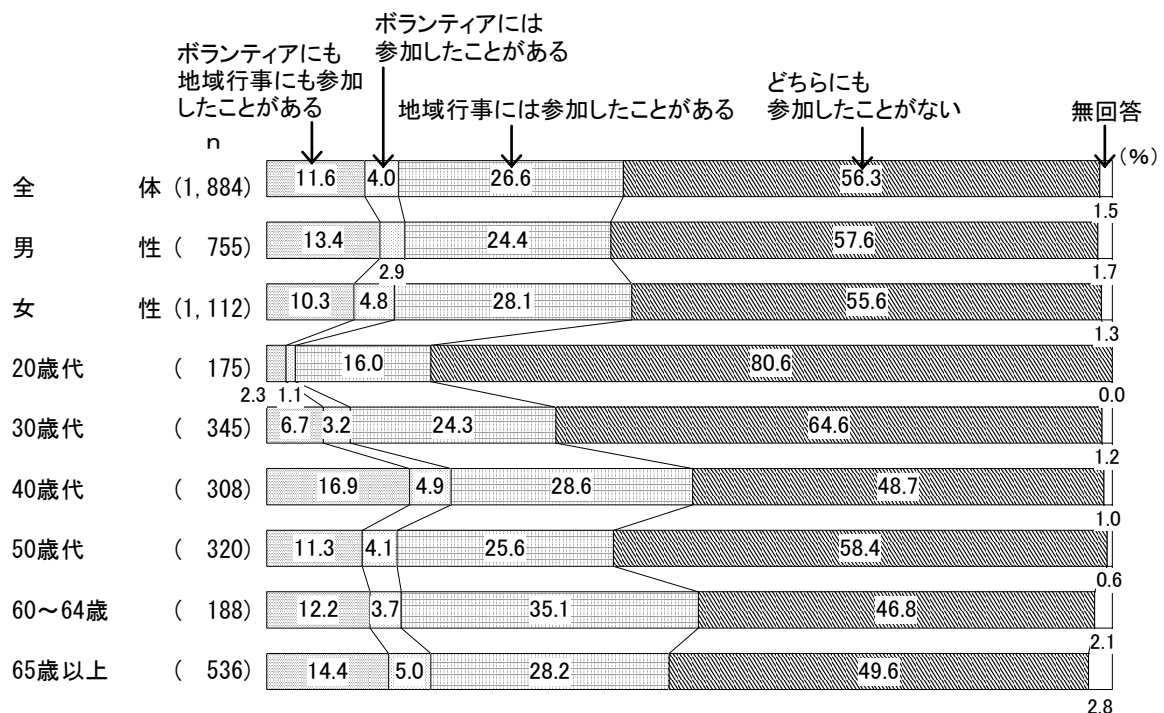
問24 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)

図6-5-1



この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなどの地域行事に参加したことがあるか聞いたところ、「地域行事には参加したことがある」は2割台半ば(26.6%)、「ボランティアにも地域行事にも参加したことがある」(11.6%)、「ボランティアには参加したことがある」(4.0%)と続き、3項目を合わせた『参加したことがある』は4割強(42.2%)となっている。一方、「どちらにも参加したことがない」は5割台半ば(56.3%)となっている。(図6-5-1)

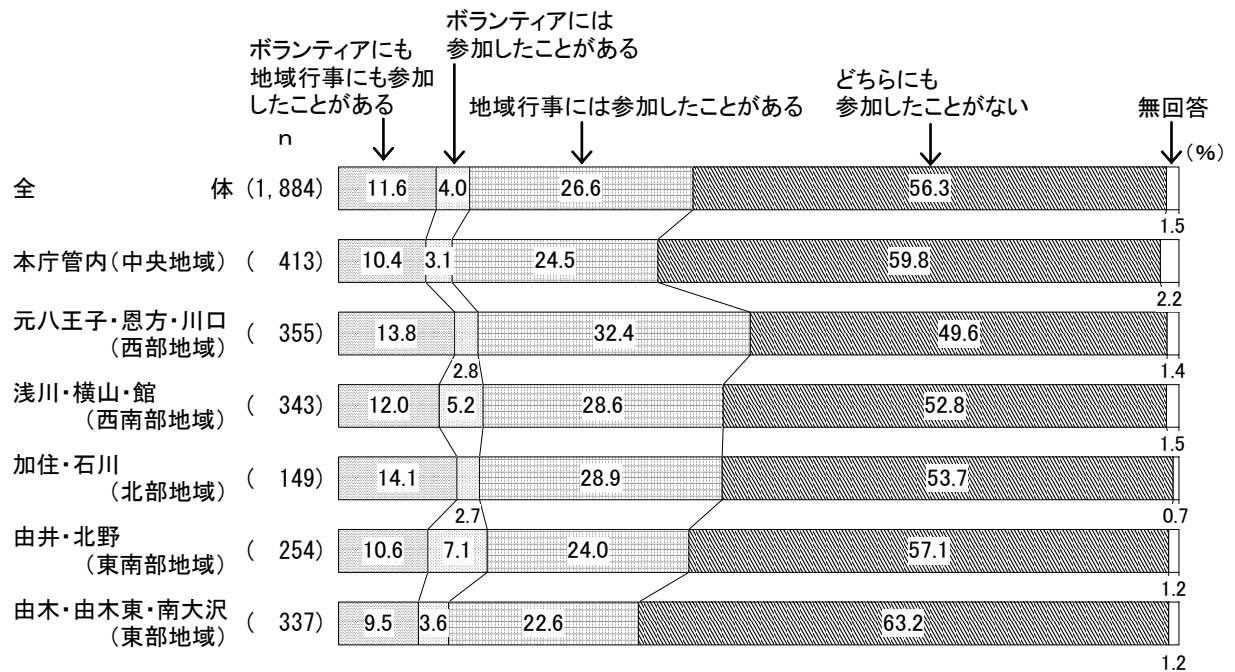
図6-5-2 この1年間の地域行事への参加—性別・年齢別



性別にみると、『参加したことがある』は女性のほうが2.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『参加したことがある』では20歳代(19.4%)が極端に低く、40歳代と60~64歳では5割強と高くなっている。(図6-5-2)

図 6－5－3 この１年間の地域行事への参加－居住地域別



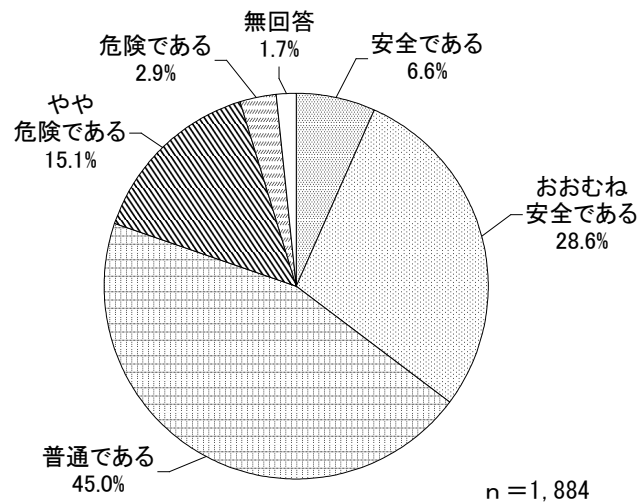
居住地域別にみると、『参加したことがある』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で5割弱（49.0%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割台半ば（35.7%）と最も低くなっている。（図6－5－3）

## 6-6 日常生活環境の安全度

◇「普通である」が4割台半ば

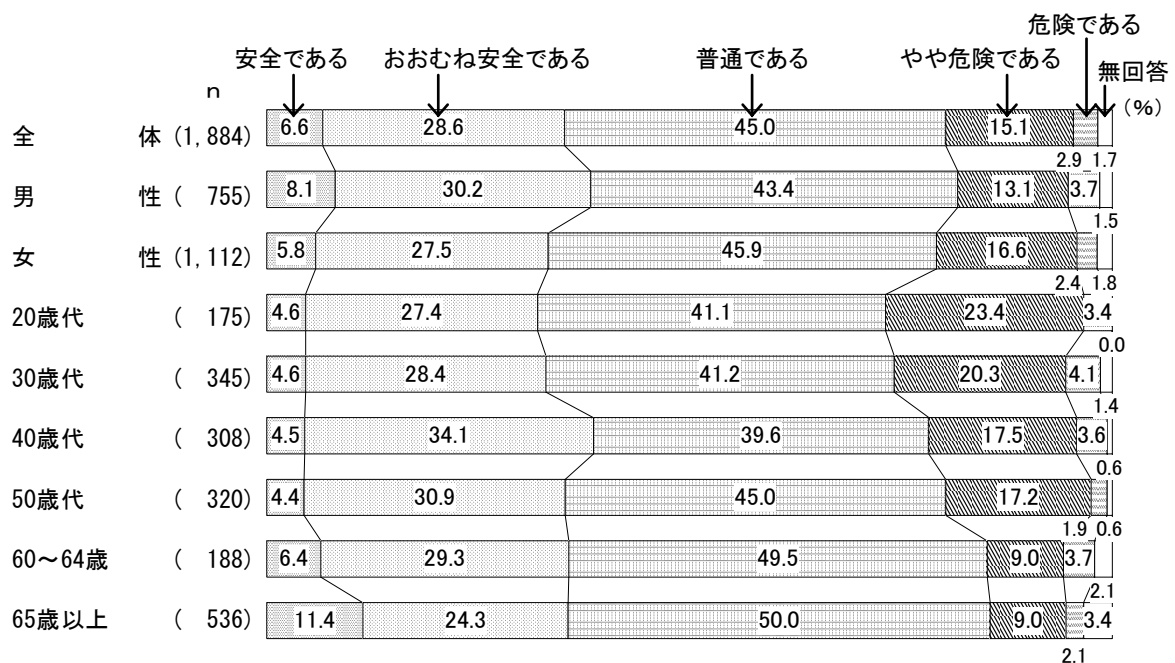
問25 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ)

図6-6-1



住まいの地域が安全であると感じるかどうか聞いたところ、「普通である」が4割台半ば（45.0%）と最も高く、「安全である」（6.6%）と「おおむね安全である」（28.6%）を合わせた『安全である』は3割台半ば（35.2%）となっている。一方、「やや危険である」（15.1%）と「危険である」（2.9%）を合わせた『危険である』は2割弱（18.0%）となっている。（図6-6-1）

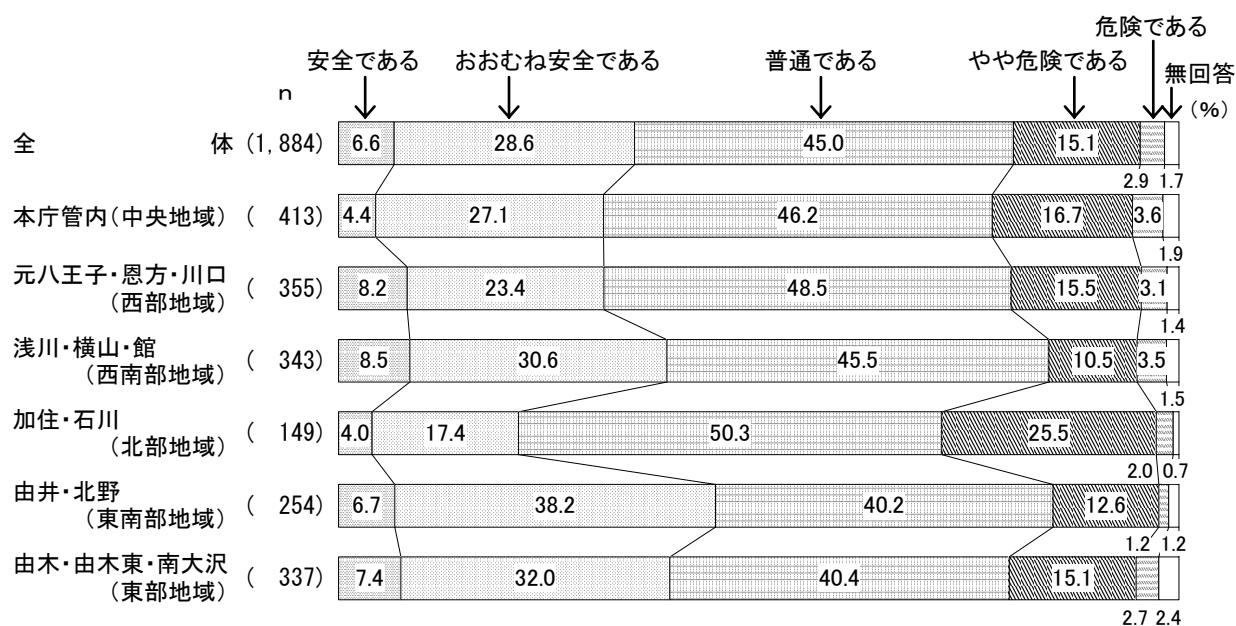
図6-6-2 日常生活環境の安全度—性別・年齢別



性別にみると、『安全である』は男性のほうが5.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『危険である』割合が20歳代（26.8%）、30歳代（24.4%）、40歳代（21.1%）は高く、年齢が低くなるほど『危険である』割合が増加する傾向がみられる。（図6-6-2）

図 6－6－3 日常生活環境の安全度－居住地域別



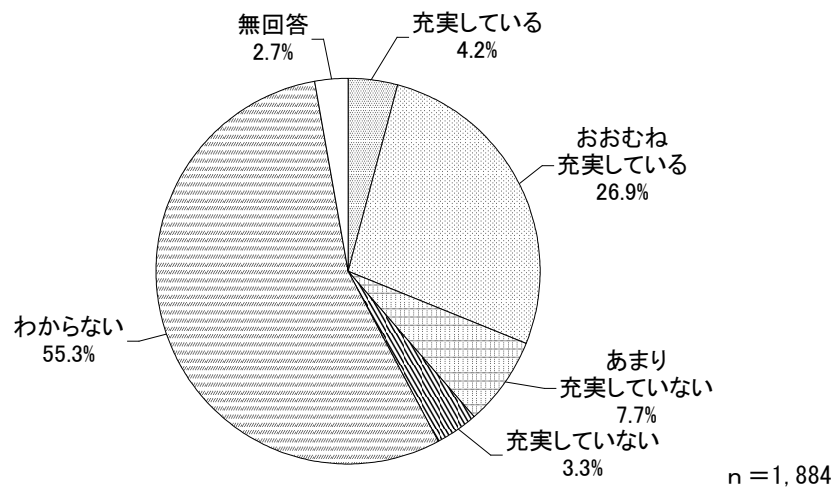
居住地域別にみると、『安全である』は由井・北野（東南部地域）で4割台半ば（44.9%）と最も高く、加住・石川（北部地域）で2割強（21.4%）と最も低くなっている。（図6－6－3）

## 6-7 市の相談窓口の充実度

◇『充実している』が3割強

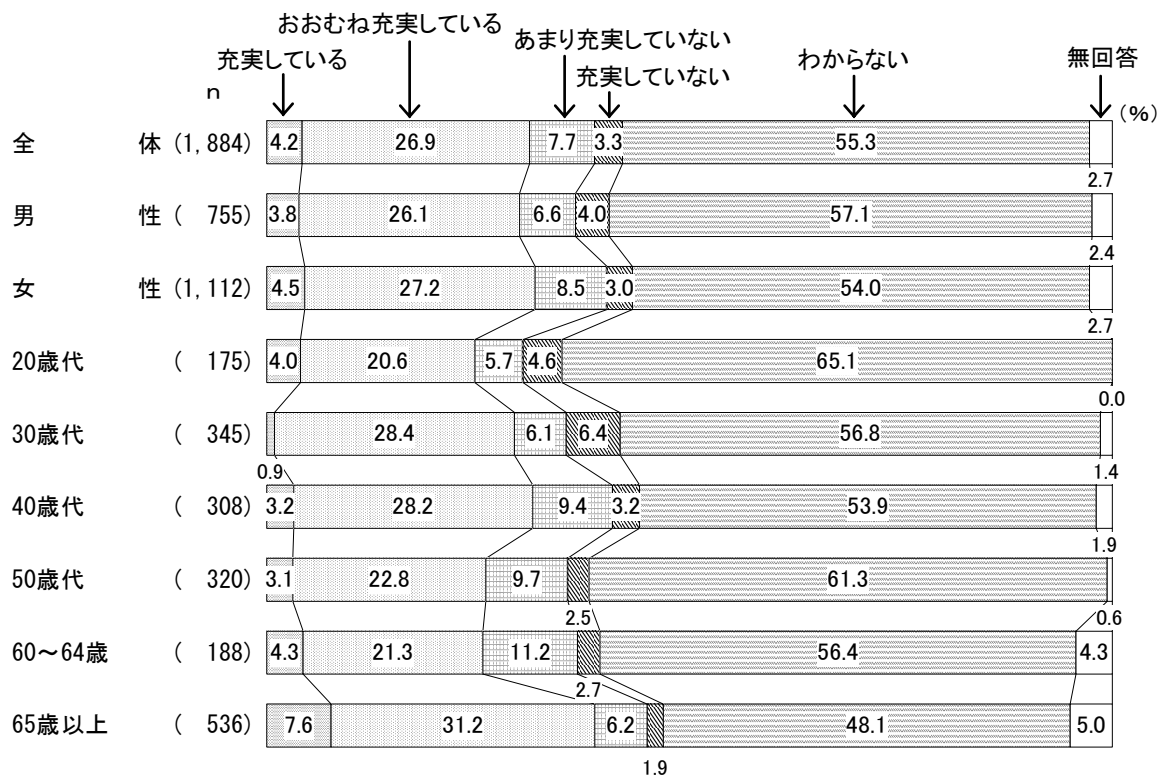
問26 市では、様々な相談を行っています、あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(○は1つだけ)

図6-7-1



市の相談窓口が充実しているかどうか聞いたところ、「おおむね充実している」(26.9%)と「充実している」(4.2%)を合わせた『充実している』は3割強(31.1%)となっている。一方、「あまり充実していない」(7.7%)と「充実していない」(3.3%)を合わせた『充実していない』は1割強(11.0%)となっている。(図6-7-1)

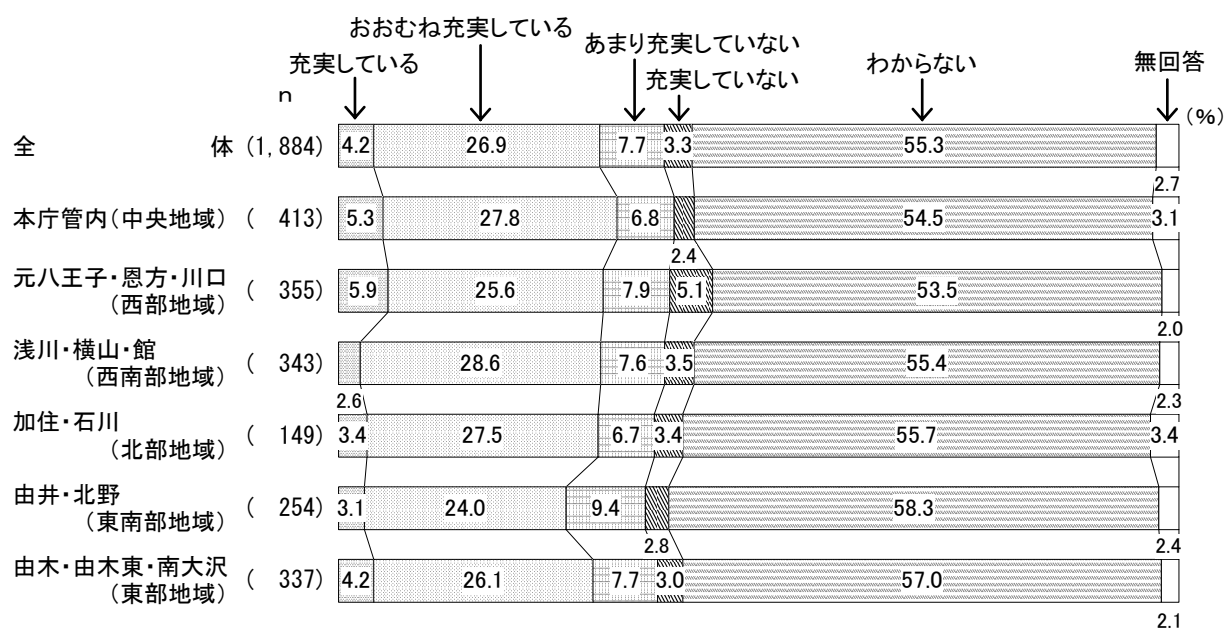
図6-7-2 市の相談窓口の充実度—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『充実している』は65歳以上で4割弱と最も高くなっている。(図6-7-2)

図 6－7－3 市の相談窓口の充実度－居住地域別



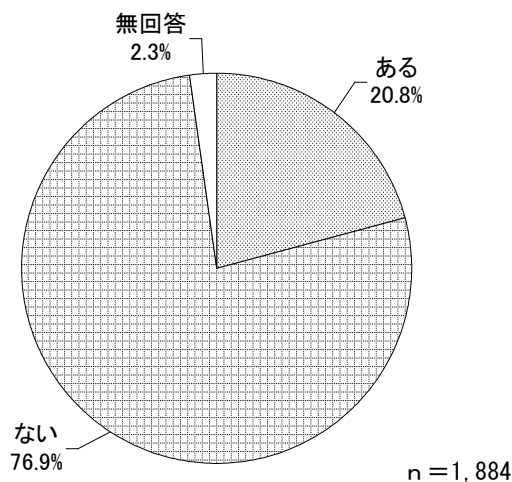
居住地域別にみると、『充実している』は本庁管内（中央地域）で3割強（33.1%）と他の地域に比べ高くなっている。（図6－7－3）

## 6－8 市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は約2割にとどまる

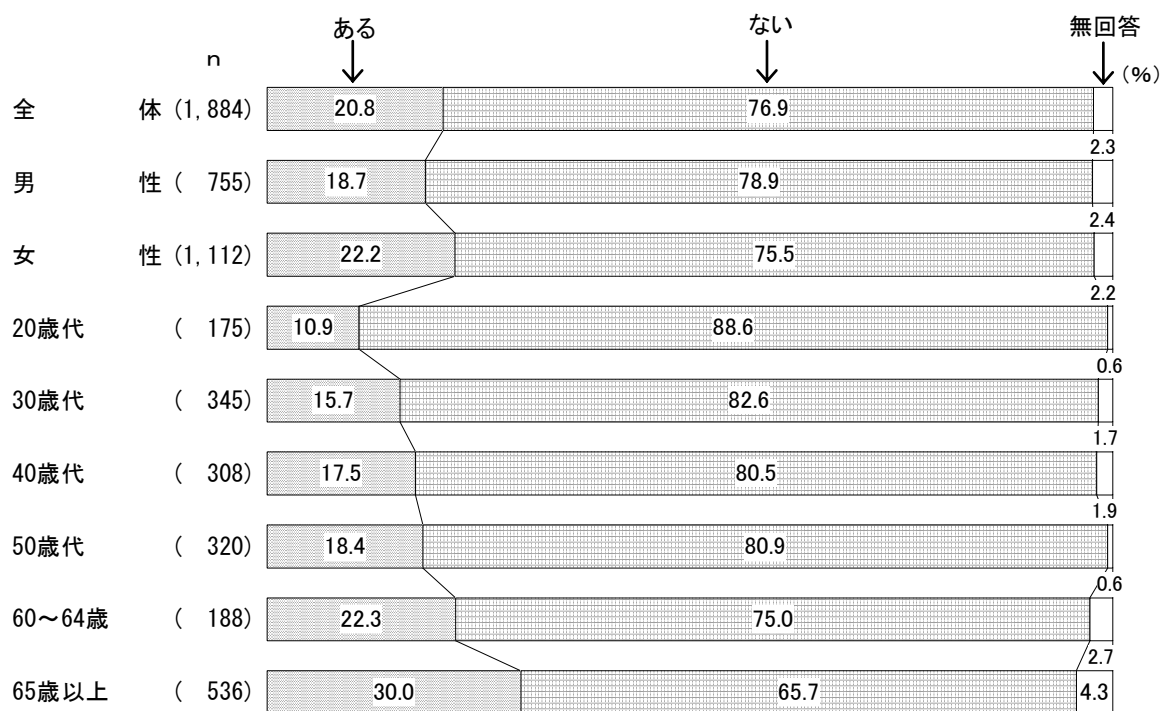
問27 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。（○は1つだけ）

図6－8－1



市の相談窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ない」が大多数の7割台半ば（76.9%）を占め、一方、「ある」は約2割（20.8%）となっている。（図6－8－1）

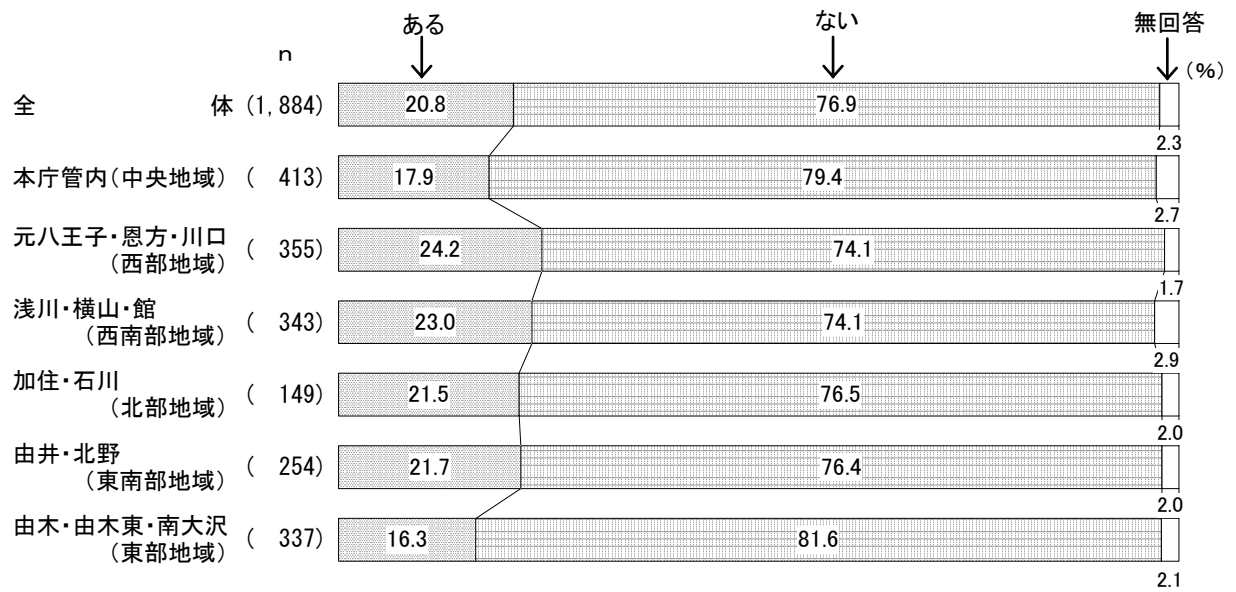
図6－8－2 市の相談窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「ある」の割合が3.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ある」の割合が増加する傾向がみられる。（図6－8－2）

図 6－8－3 市の相談窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で2割台半ば（24.2%）と他の地域と比べて高くなっている。（図6－8－3）



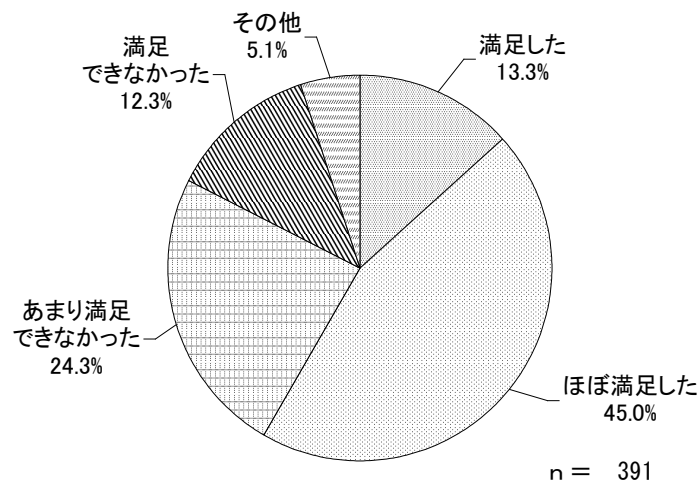
## 6－9 相談窓口の満足度

◇『満足した』が6割弱

(問27で「ある」とお答えの方に)

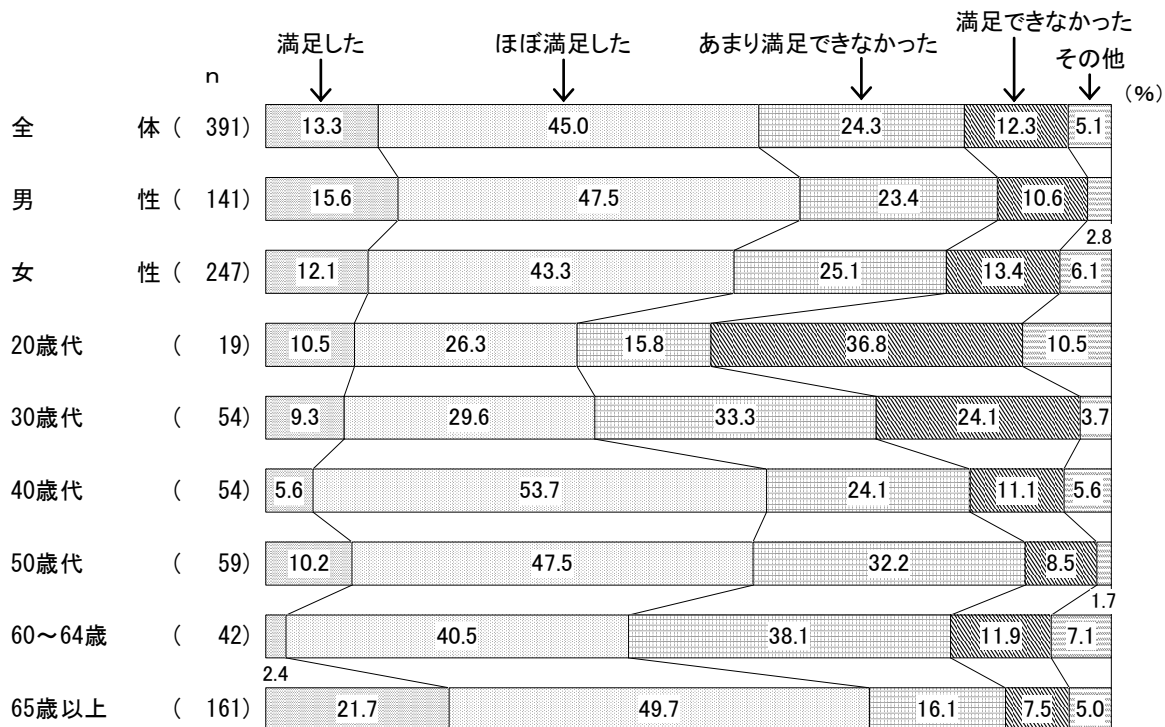
問27－1 市の相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ)

図6－9－1



市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(391人)に、市の相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が4割台半ば(45.0%)と最も高く、「満足した」(13.3%)と合わせた『満足した』は6割弱(58.3%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(24.3%)と「満足できなかった」(12.3%)を合わせた『満足できなかった』は3割台半ば(36.6%)となっている。(図6－9－1)

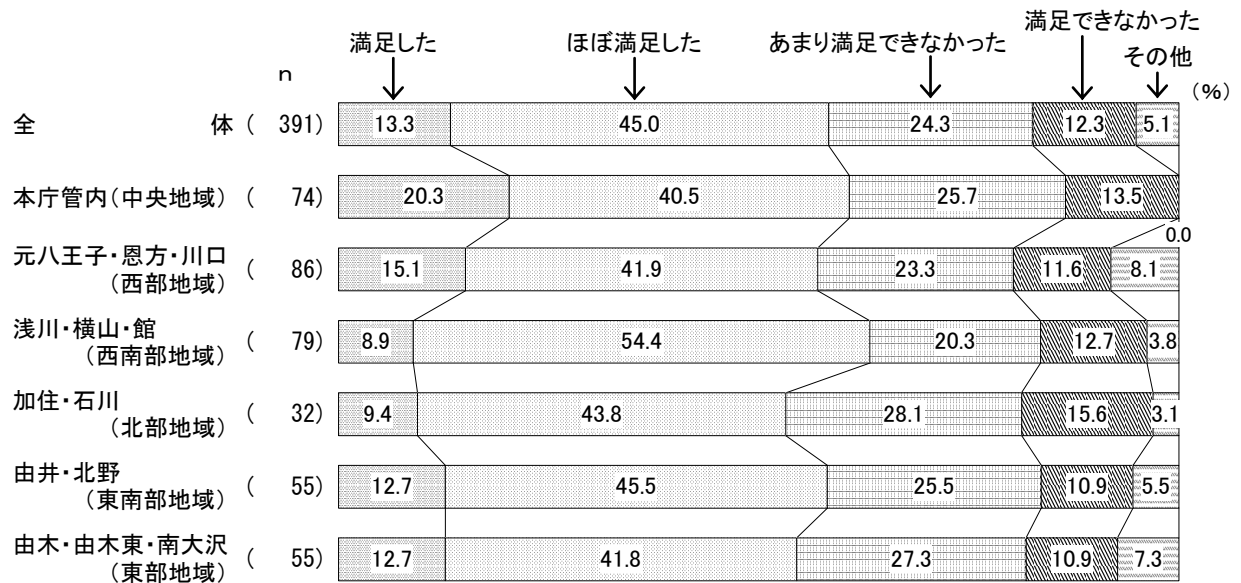
図6－9－2 相談窓口の満足度－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが『満足した』が7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足した』割合は、65歳以上(71.4%)が特に高くなっている。(図6－9－2)

図 6－9－3 相談窓口の満足度－居住地域別



居住地域別にみると、『満足した』はすべての地域で5割以上を占めている。また、「満足した」では本庁管内（中央地域）が約2割（20.3%）と他の地域に比べて特になくなっている。

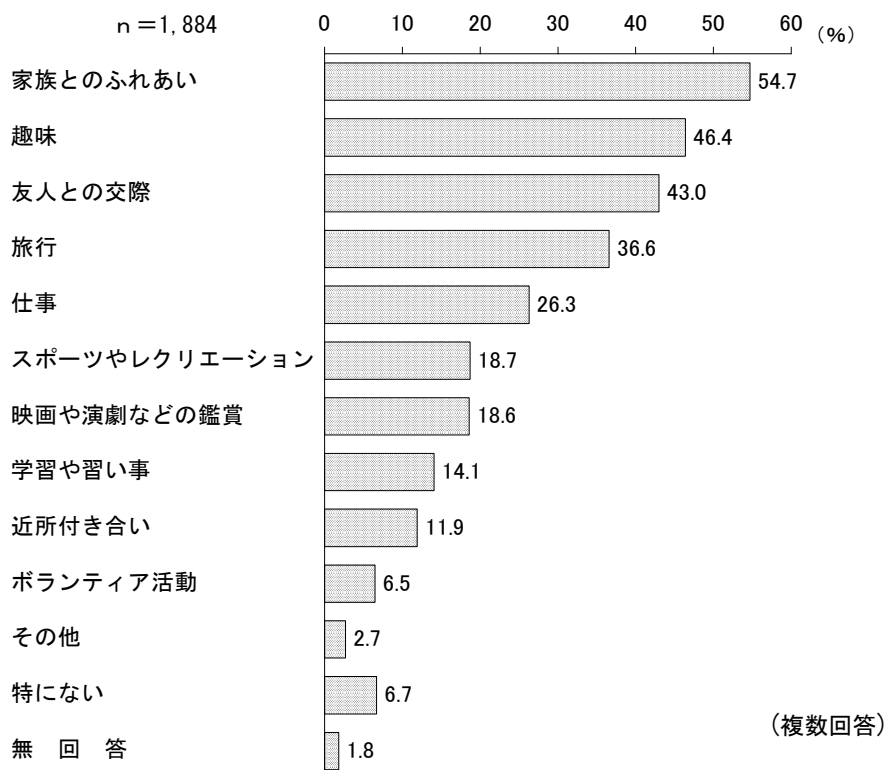
（図 6－9－3）

## 6－10 現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が5割台半ば

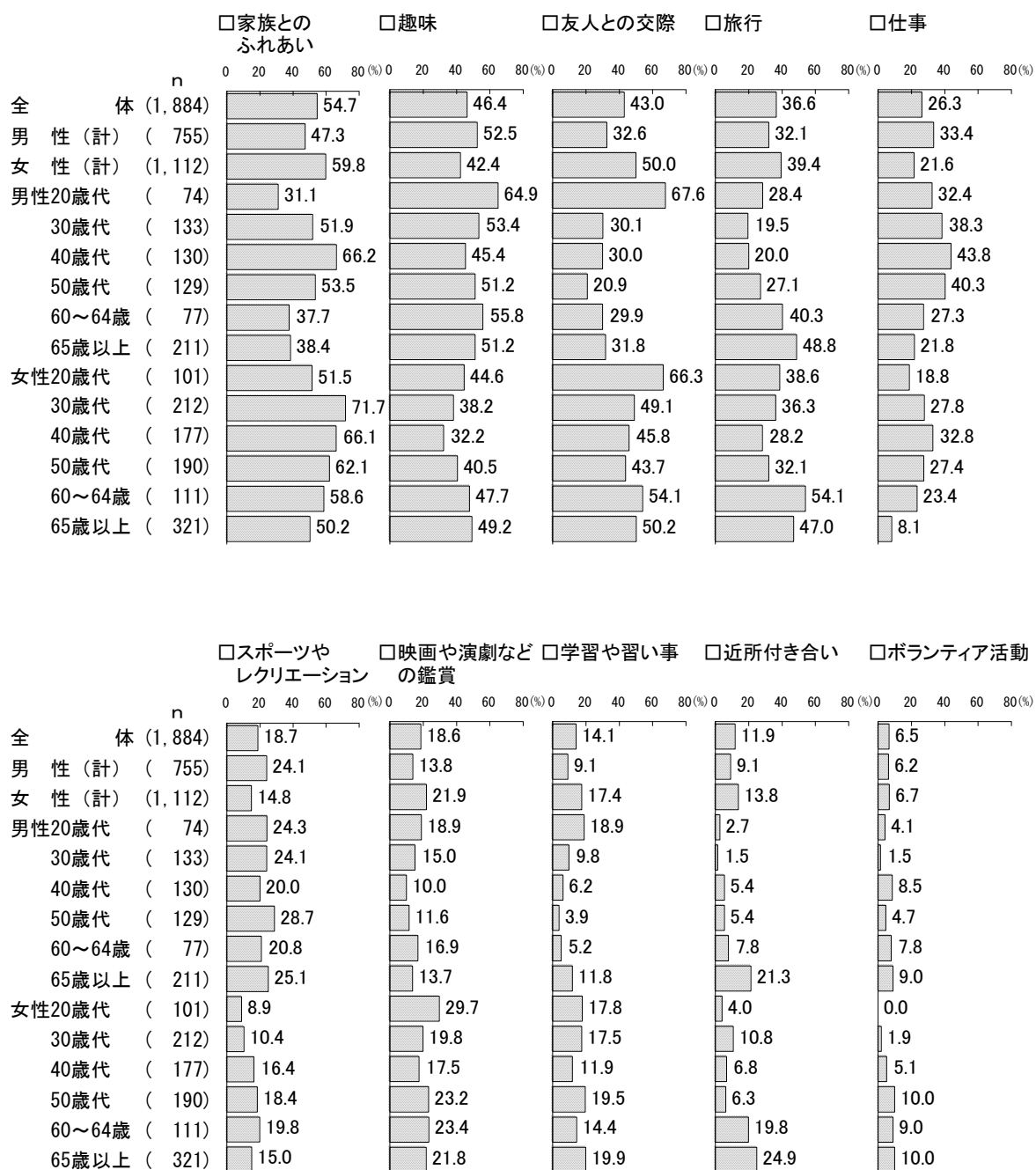
問28 あなたの現在の生きがいはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

図6－10－1



現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が5割台半ば（54.7%）と最も高く、ついで「趣味」（46.4%）、「友人との交際」（43.0%）、「旅行」（36.6%）、「仕事」（26.3%）の順で続いている。（図6－10－1）

図6-10-2 現在の生きがいー性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、「友人との交際」は女性のほうが17.4ポイント高く、「仕事」は男性のほうが11.8ポイント高くなっている。

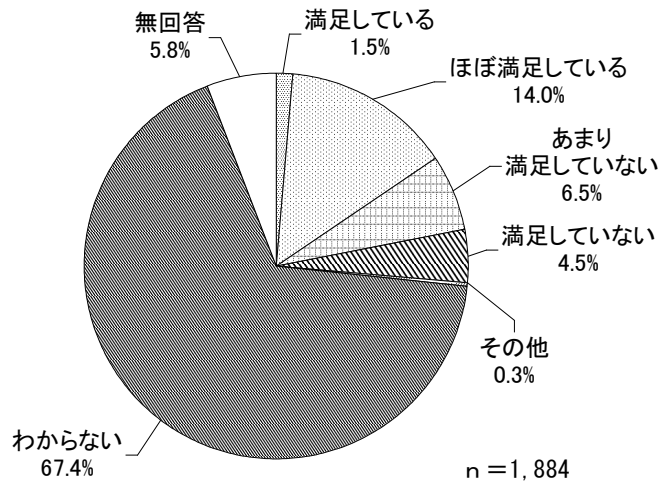
性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の30歳代で7割強と高く、「趣味」は男性の40歳代を除いた男性の年齢層で5割を超えている。「友人との交際」は男性と女性の20歳代で6割台と高く、「旅行」は女性の60～64歳で5割を超え、「仕事」は男性の40歳代・50歳代で4割台と最も高い。「スポーツやレクリエーション」は男性のすべての年齢層で2割以上と高く、「映画や演劇などの鑑賞」は女性の20歳代で3割弱となっている。また、「近所付き合い」は男女とも65歳以上で2割以上となっている。（図6-10-2）

## 6-11 市の子育て支援施策の満足度

◇「ほぼ満足している」が1割台半ば

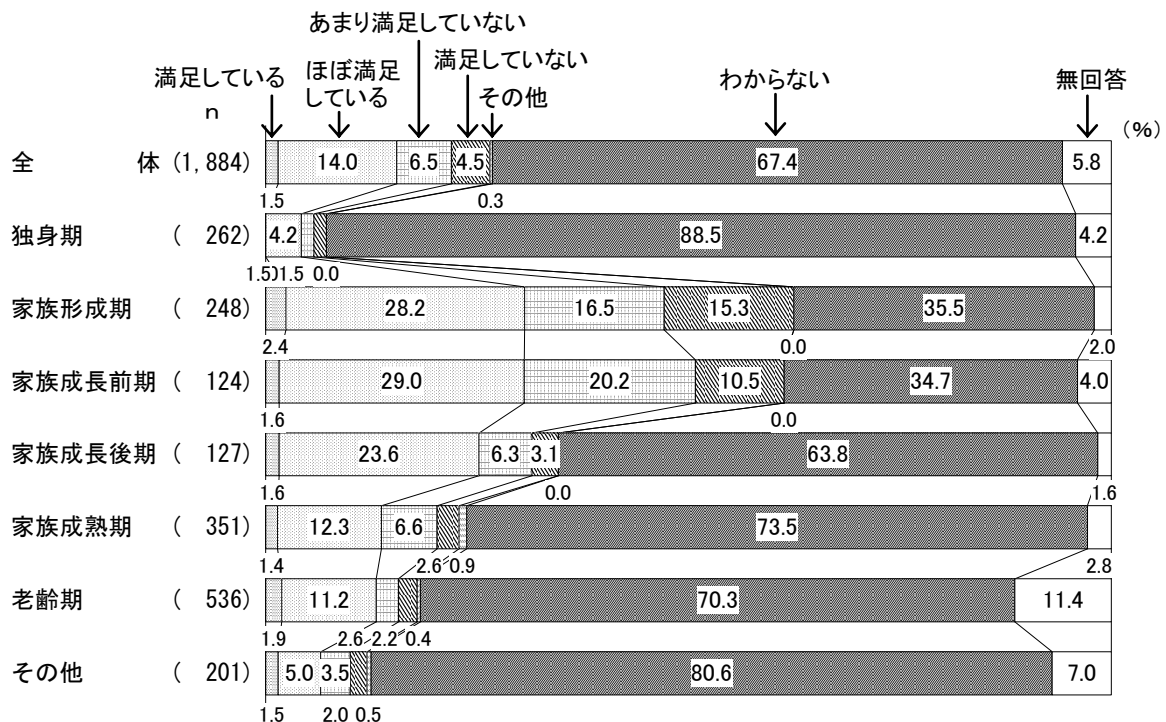
問29 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。(〇は1つだけ)

図6-11-1



市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(1.5%)と「ほぼ満足している」(14.0%)を合わせた『満足』は1割台半ば(15.5%)となっている。一方、「あまり満足していない」(6.5%)と「満足していない」(4.5%)を合わせた『満足していない』(11.0%)は1割強となっている。(図6-11-1)

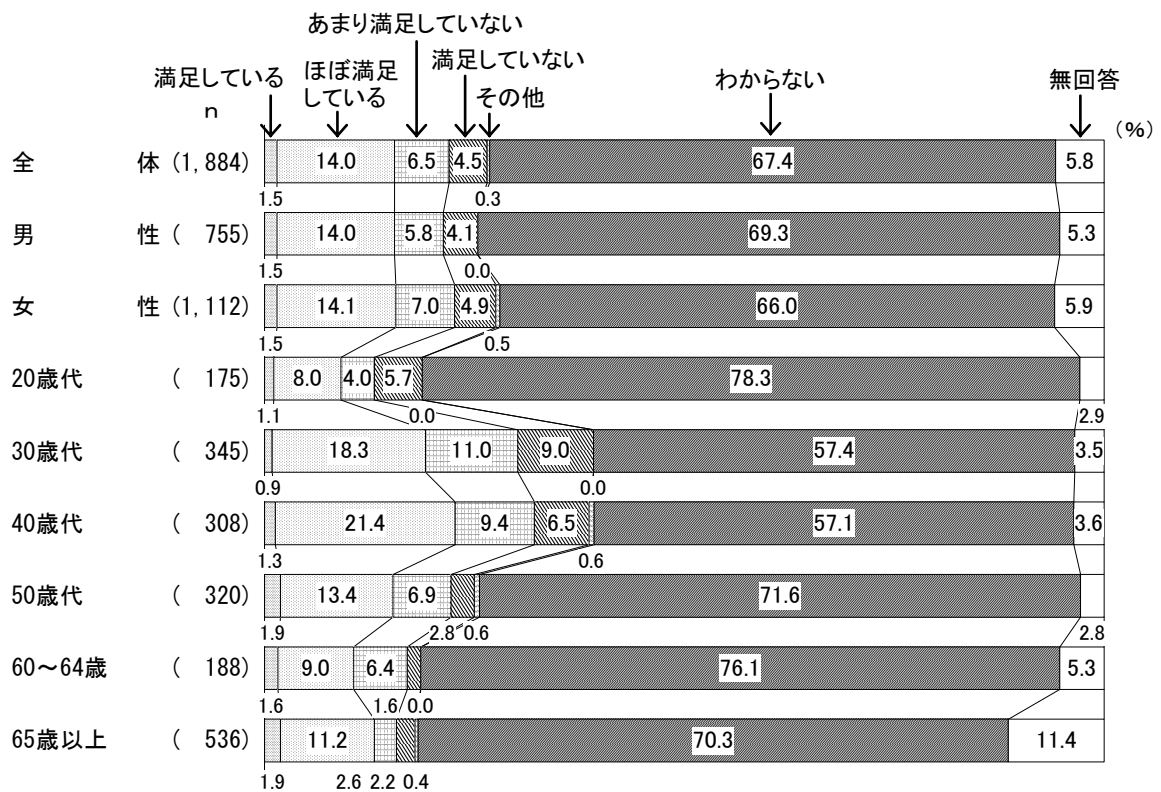
図6-11-2 市の子育て支援施策の満足度—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、家族成長後期では『満足』が『満足していない』を15.8ポイント上回っている。家族形成期、家族成長前期以外のステージは「わからない」が過半数を占めている。

(図6-11-2)

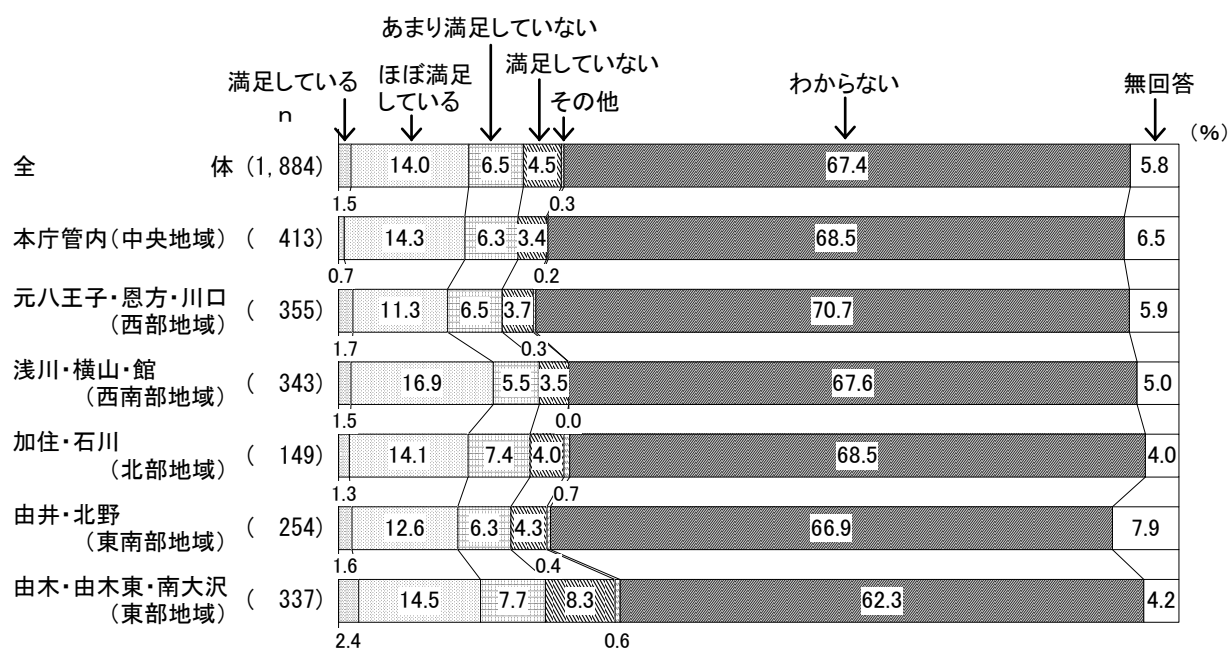
図6-11-3 市の子育て支援施策の満足度－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが『満足していない』が2.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代を除き、年齢が高くなるほど『満足していない』の割合が減少する傾向となっている。(図6-11-3)

図 6-11-4 市の子育て支援施策の満足度－居住地域別



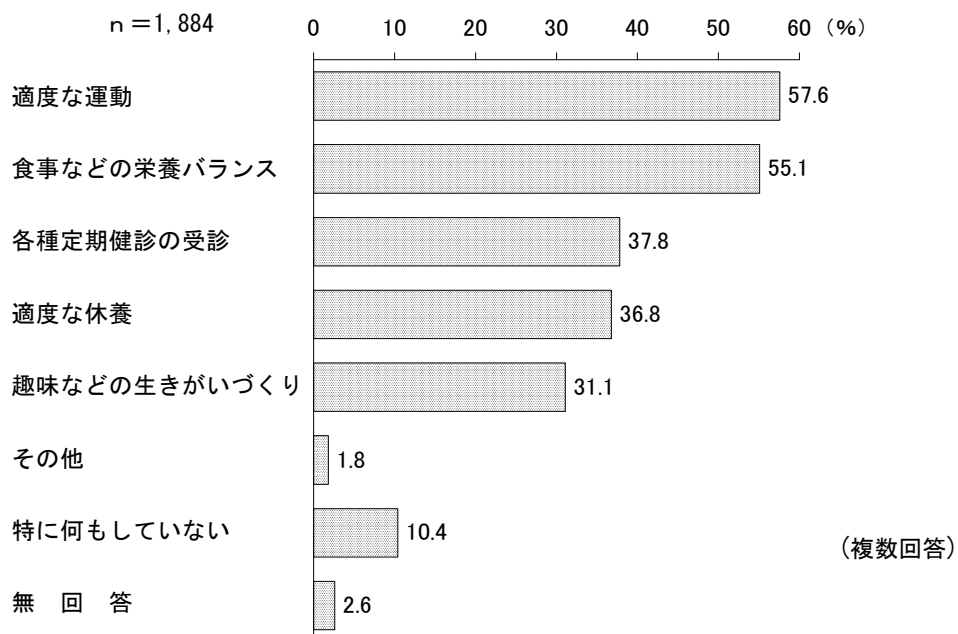
居住地域別にみると、『満足』は浅川・横山・館（西南部地域）で2割弱（18.4%）と最も高くなっている。（図 6-11-4）

## 6-12 健康のために心がけていること

◇「適度な運動」「食事などの栄養バランス」がともに5割台半ば

問30 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。  
(○はいくつでも)

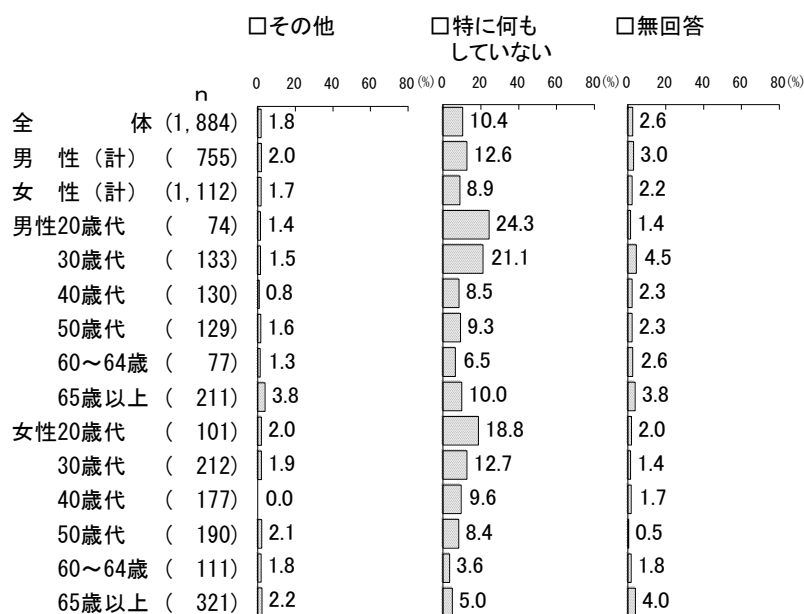
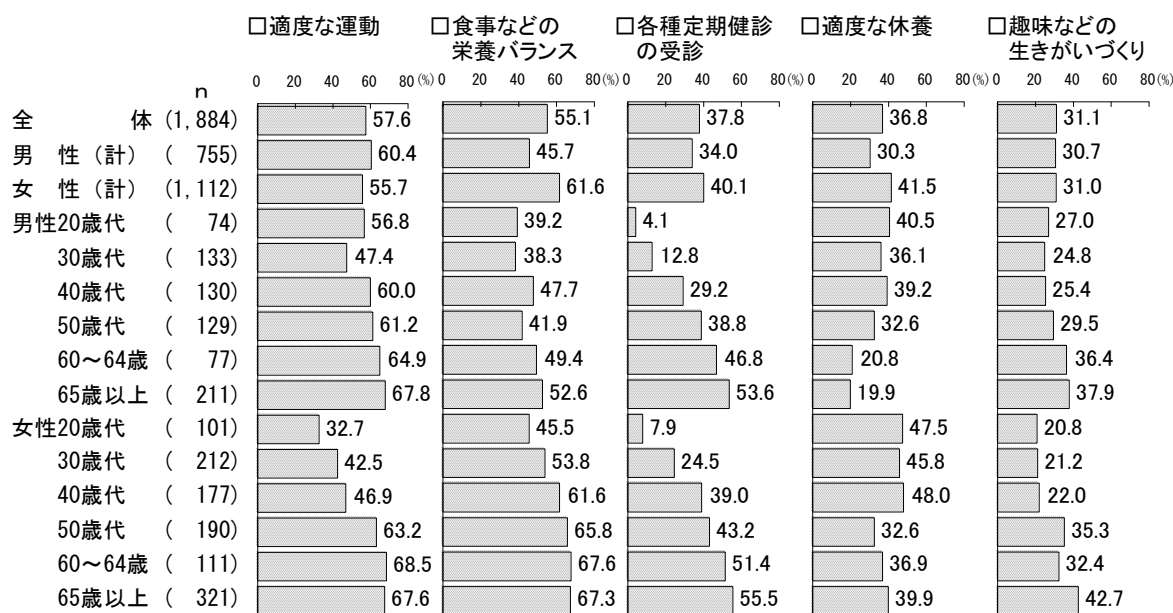
図6-12-1



健康の維持・増進のために自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」(57.6%)と「食事などの栄養バランス」(55.1%)がともに5割台半ばとなっており、ついで「各種定期健診の受診」(37.8%)、「適度な休養」(36.8%)と続いている。(図6-12-1)



図6-12-2 健康のために心がけていること－性別・年齢別



性別にみると、「食事などの栄養バランス」は女性のほうが15.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「適度な運動」は男女とも概ね年齢が高くなるほど割合が増加している。「食事などの栄養バランス」では女性の40歳以上で6割台と高くなっている。「各種定期健診の受診」は男女とも年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、特に女性の65歳以上では5割台半ば（55.5%）を占めている。「適度な休養」は男性20歳代と女性の40歳代以下で4割台と高くなっており、「趣味などの生きがいがづくり」は女性65歳代で4割強（42.7%）と高くなっている。

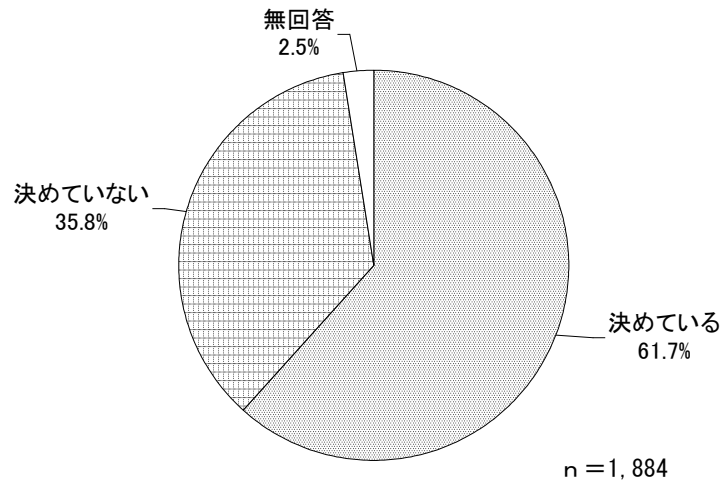
（図6-12-2）

## 6-13 かかりつけの医療機関の有無

◇「決めている」人は6割強

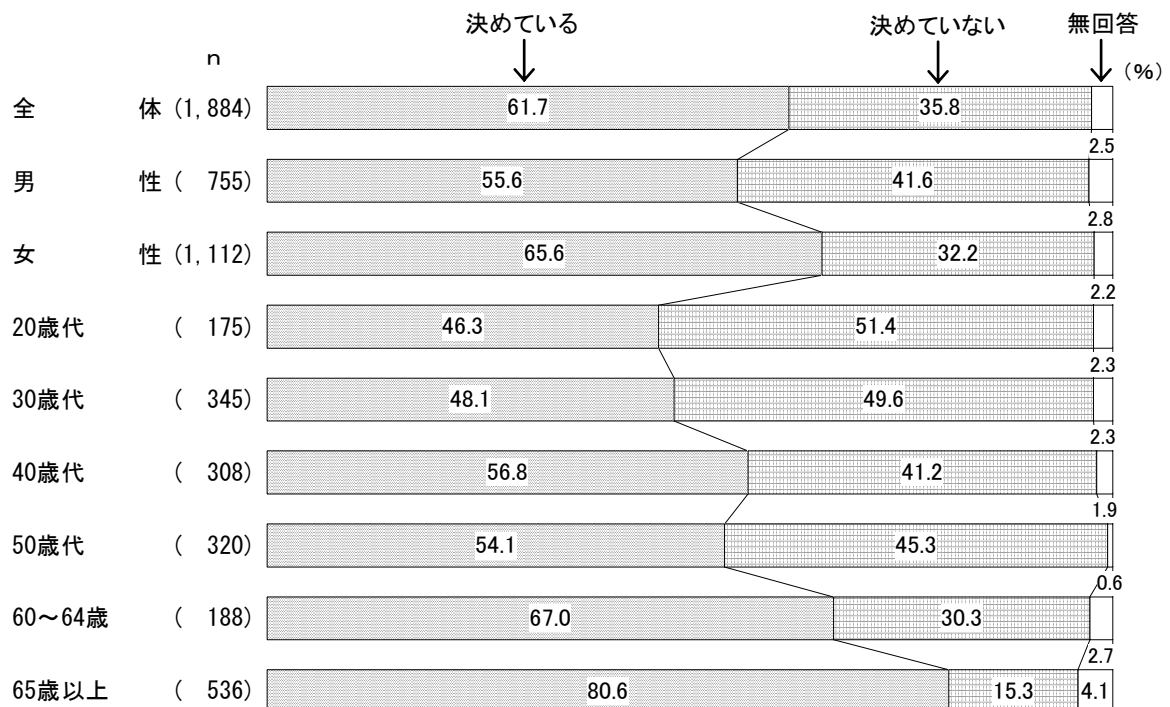
問31 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

図 6-13-1



かかりつけの医療機関を決めているか聞いたところ、「決めている」が6割強（61.7%）、一方、「決めていない」が3割台半ば（35.8%）となっている。（図 6-13-1）

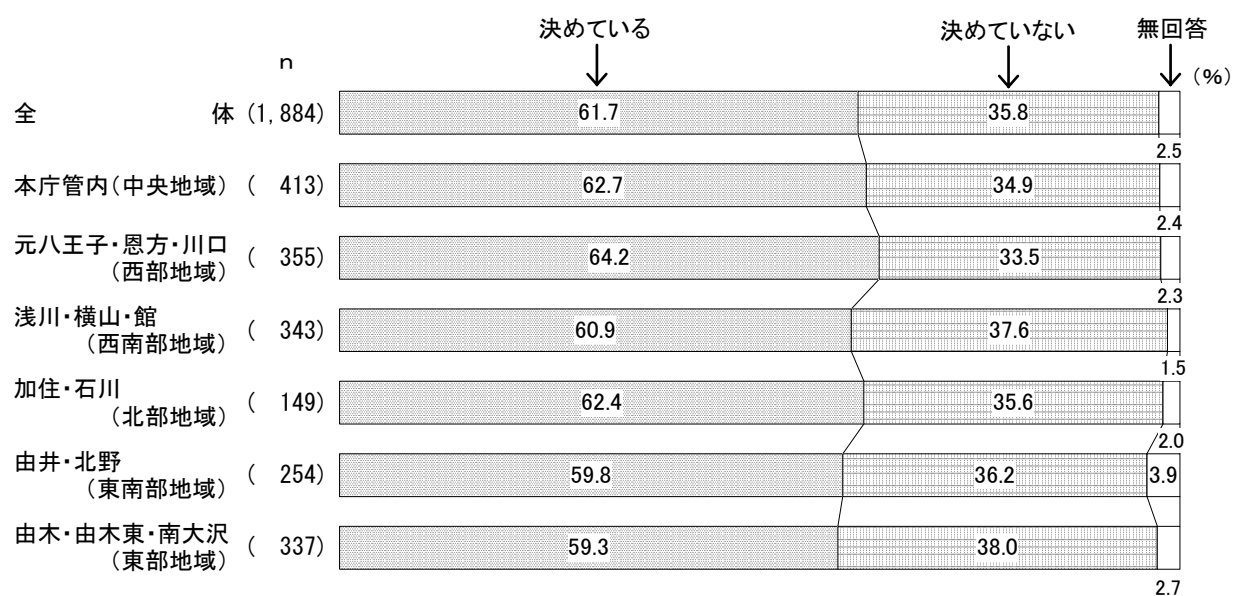
図 6-13-2 かかりつけの医療機関の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「決めている」が10.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳代を除き、年齢が高くなるほど「決めている」の割合が増加する傾向がみられ、65歳以上では約8割（80.6%）を占めている。（図 6-13-2）

図 6-13-3 かかりつけの医療機関の有無－居住地域別



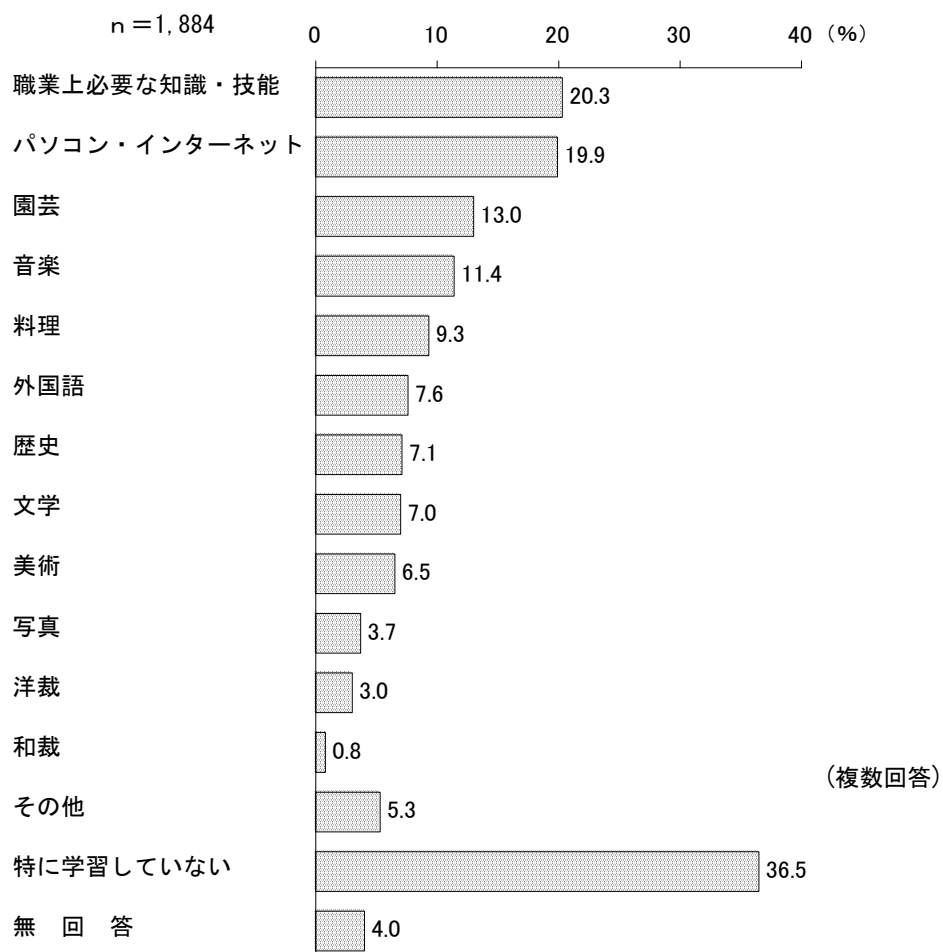
居住地域別にみると、「決めている」はすべての地域で6割前後となっている。(図 6-13-3)

## 6-14 この1年間に取り組んだ学習活動

◇「職業上必要な知識・技能」と「パソコン・インターネット」の2項目が約2割

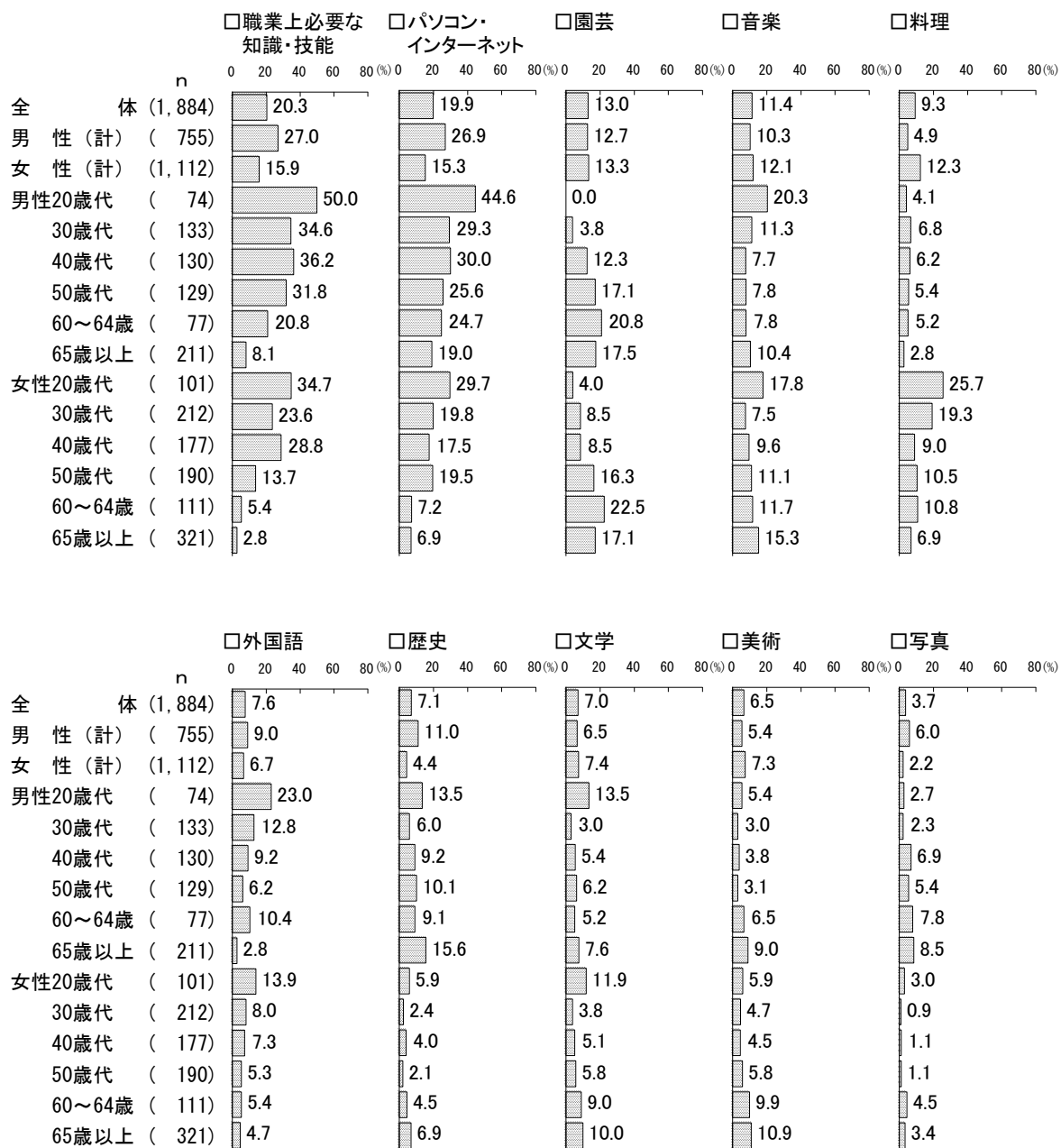
問32 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)

図6-14-1



この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「職業上必要な知識・技能」が約2割(20.3%)と最も高く、ついで「パソコン・インターネット」(19.9%)、「園芸」(13.0%)、「音楽」(11.4%)、「料理」(9.3%)と続いている。(図6-14-1)

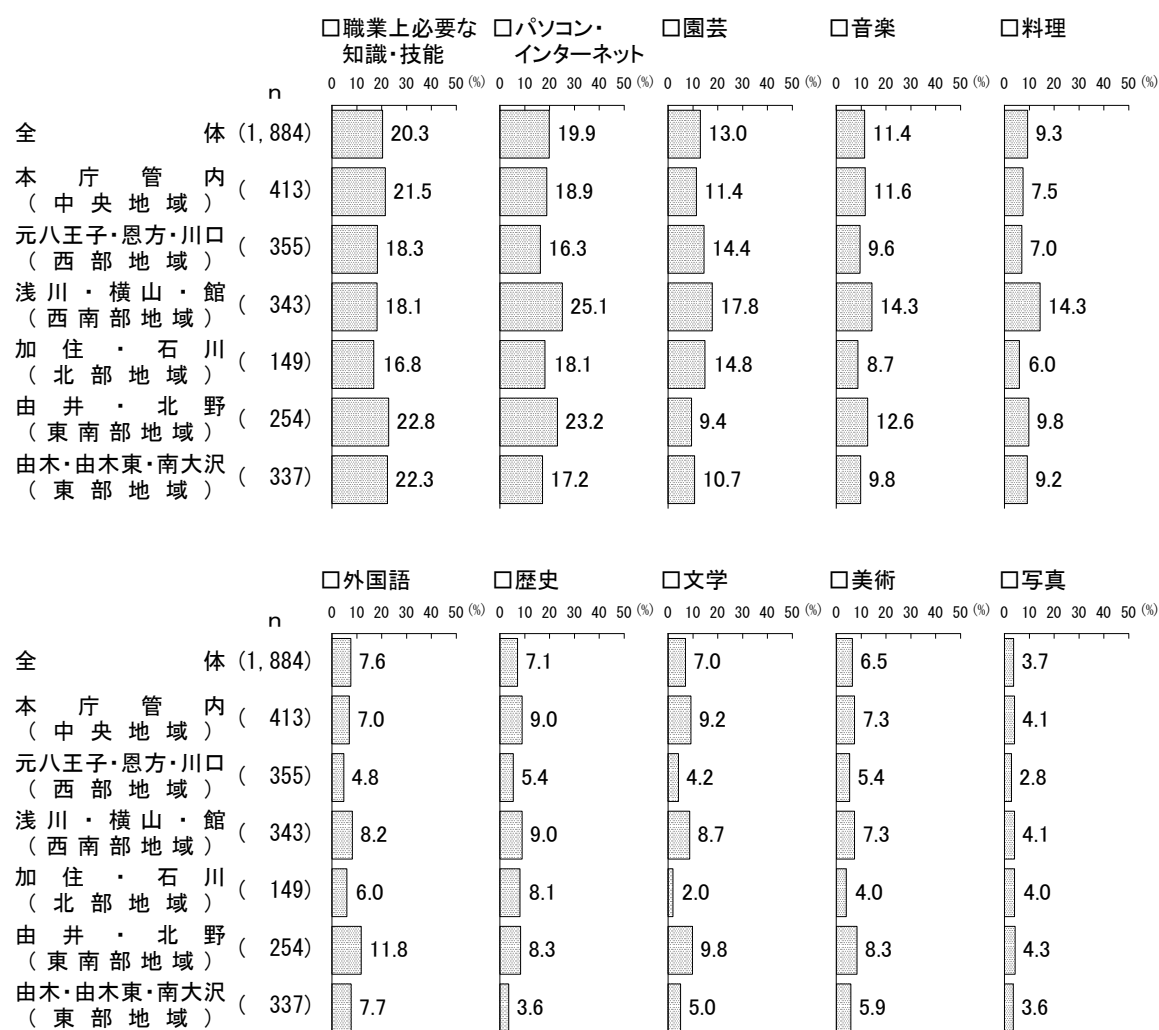
図6-14-2 この1年間に取り組んだ学習活動－性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、男性のほうが「パソコン・インターネット」で11.6ポイント、「職業上必要な知識・技能」で11.1ポイント高く、女性のほうが「料理」で7.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男性の20歳代で「職業上必要な知識・技能」は5割（50.0%）、「パソコン・インターネット」は4割台半ば（44.6%）を占めて高くなっている。「園芸」は65歳以上を除き年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられる。（図6-14-2）

図 6-14-3 この1年間に取り組んだ学習活動－居住地地域別（上位10項目）



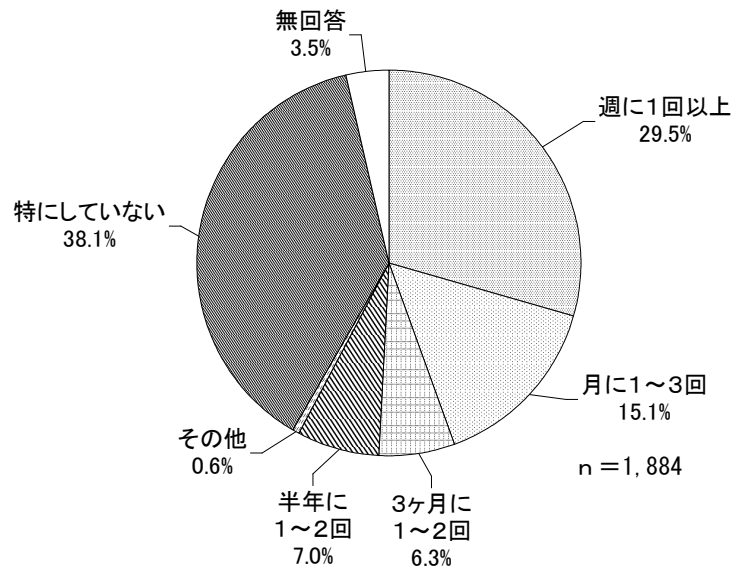
居住地地域別にみると、由井・北野（東南部地域）では「パソコン・インターネット」（23.2%）、「職業上必要な知識・技能」（22.8%）が2割強と高くなっている。浅川・横山・館（西南部地域）では「パソコン・インターネット」が2割台半ば（25.1%）と高くなっている。（図 6-14-3）

## 6-15 この1年間に行ったスポーツの頻度

◇「週に1回以上」が約3割、「特にしていない」が4割弱

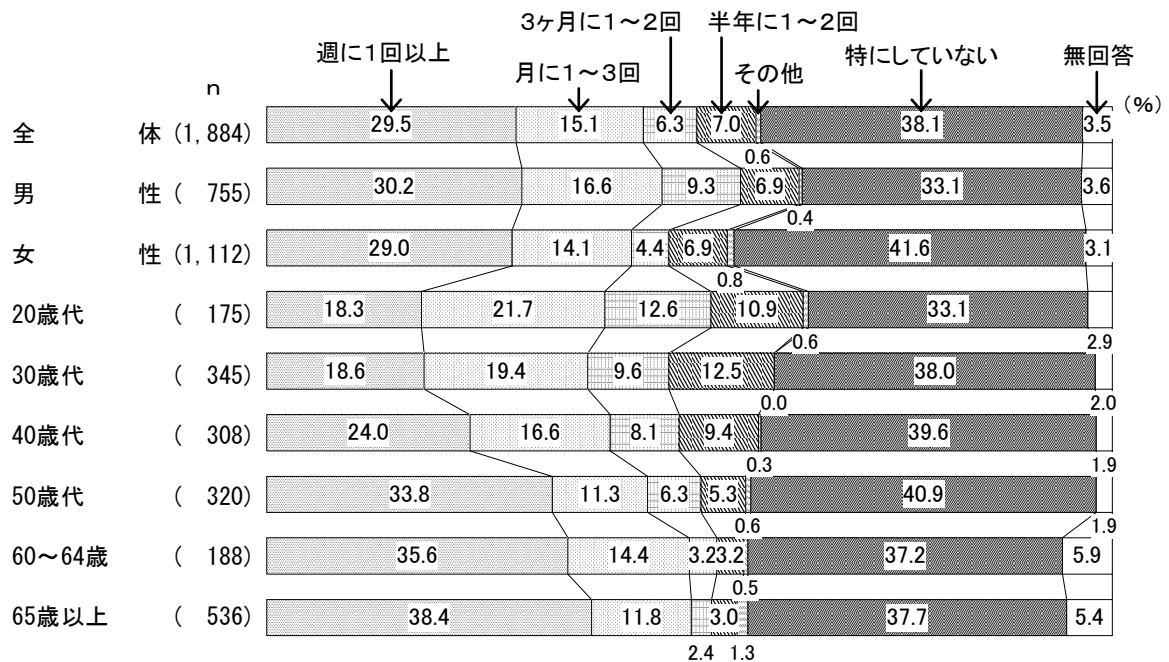
問33 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

図6-15-1



この1年間にスポーツを行った回数について聞いたところ、「週に1回以上」が約3割（29.5%）、「月に1～3回」が1割台半ば（15.1%）となり、「3か月に1～2回」（6.3%）及び「半年に1～2回」（7.0%）がともに1割未満となっている。一方、「特にしていない」は4割弱（38.1%）となっている。（図6-15-1）

図6-15-2 この1年間に行ったスポーツの頻度－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「特にしていない」が8.5ポイント高くなっている。

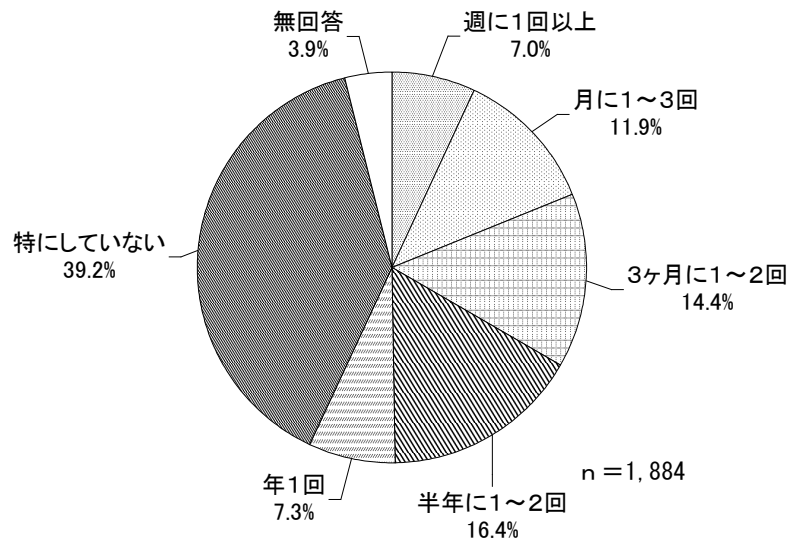
年齢別にみると、「週に1回以上」は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にあり、65歳以上では4割弱（38.4%）と最も高くなっている。（図6-15-2）

## 6-16 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「特にしていない」が4割弱

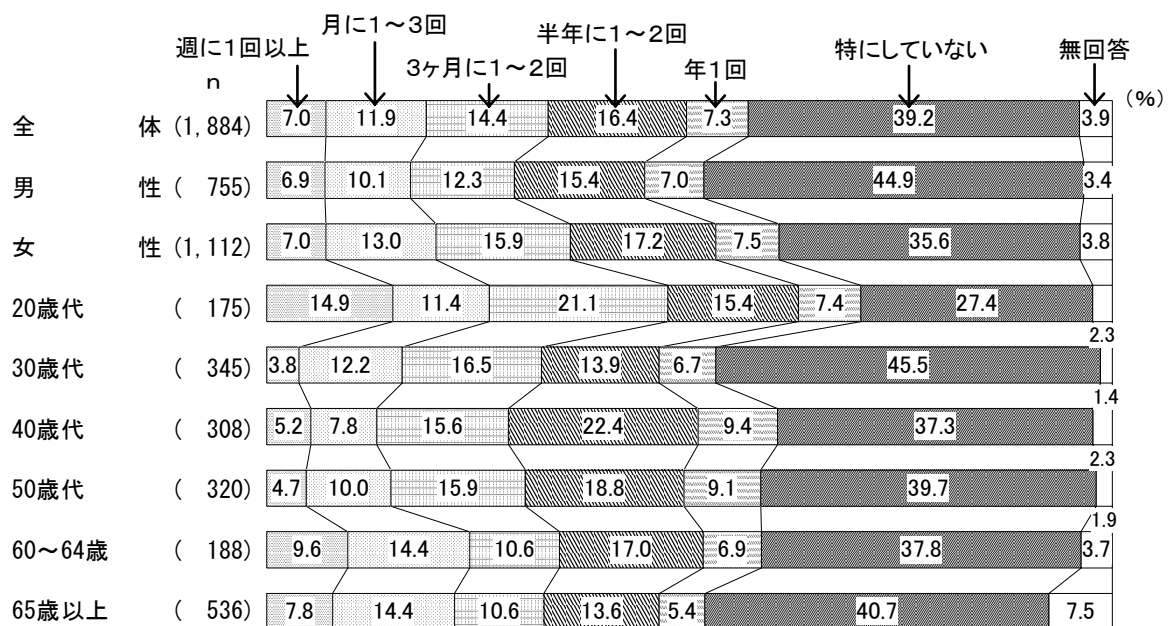
問34 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

図6-16-1



この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」が1割未満(7.0%)、「月に1~3回」が1割強(11.9%)、「半年に1~2回」(16.4%)と「3か月に1~2回」(14.4%)が1割台半ばとなっている。一方で「特にしていない」は4割弱(39.2%)となっている。(図6-16-1)

図6-16-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「特にしていない」が9.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「週に1回以上」と「月に1~3回」の合計は20歳代(26.3%)の割合が最も高く、40歳代(13.0%)の割合が最も低くなっている。(図6-16-2)

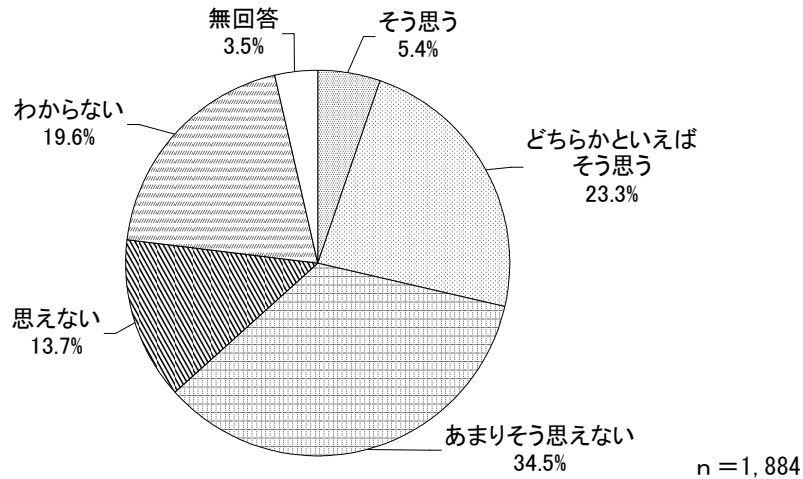


## 6-17 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』が5割弱

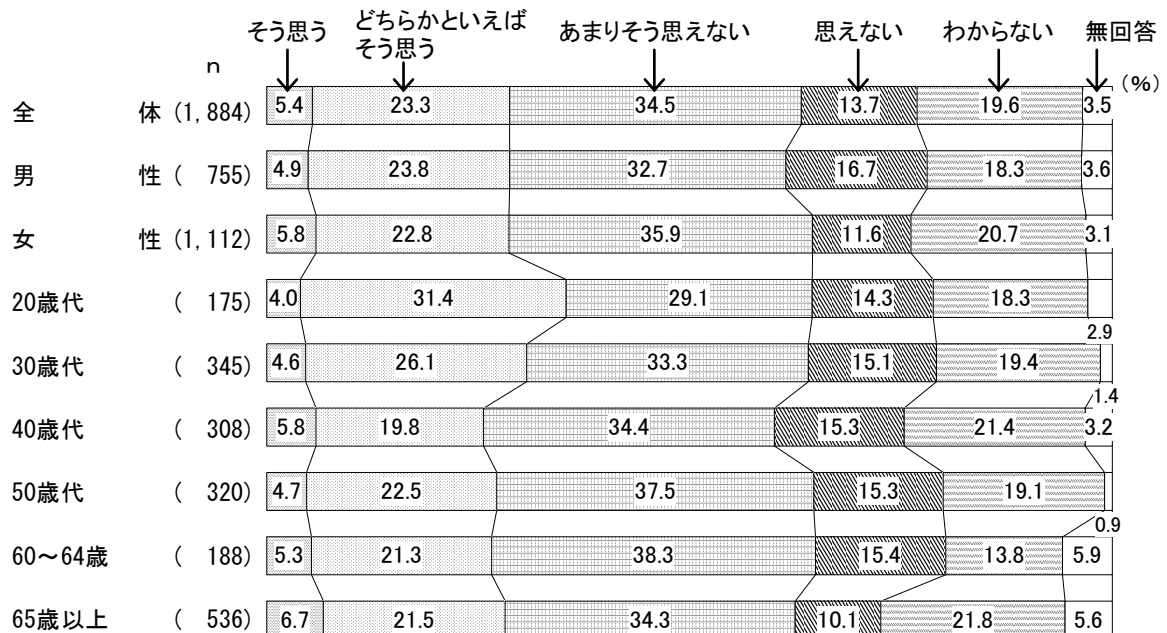
問35 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-17-1



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が3割台半ば(34.5%)と最も高く、「思えない」(13.7%)と合わせた『思えない』は5割弱(48.2%)となっている。一方、「そう思う」(5.4%)と「どちらかといえばそう思う」(23.3%)を合わせた『そう思う』は3割弱(28.7%)となっている。(図6-17-1)

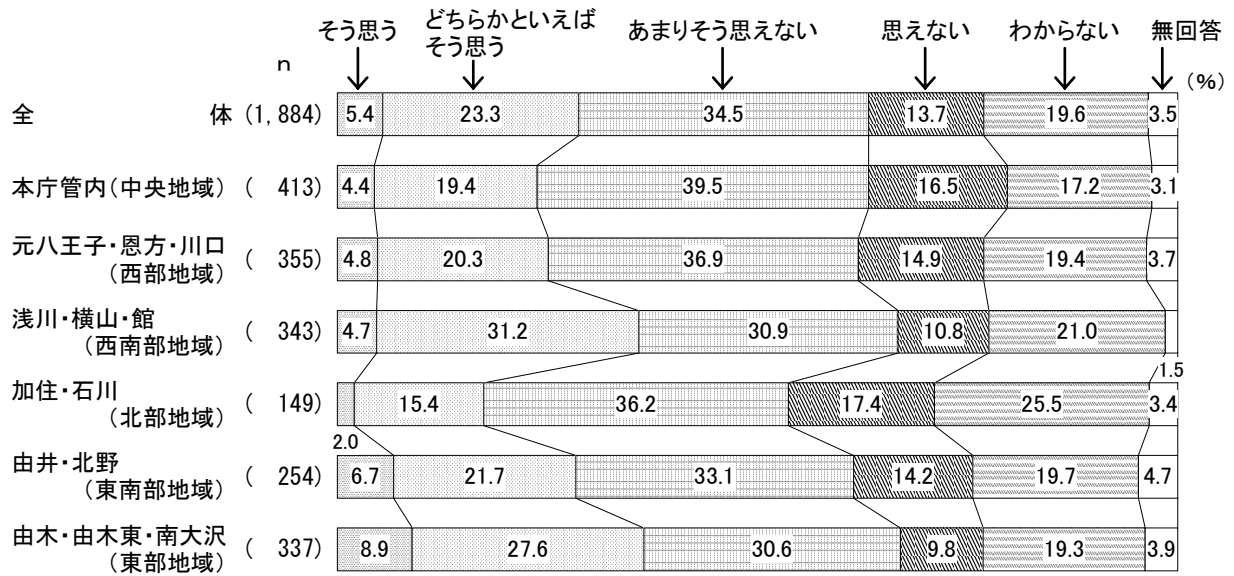
図6-17-2 市は景観に配慮されたまちであるかー性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、50歳代・60～64歳で『思えない』が5割強と高く、20歳代で『そう思う』が3割台半ば(35.4%)と、比較的高くなっている。(図6-17-2)

図 6-17-3 市は景観に配慮されたまちであるかー居住地域別



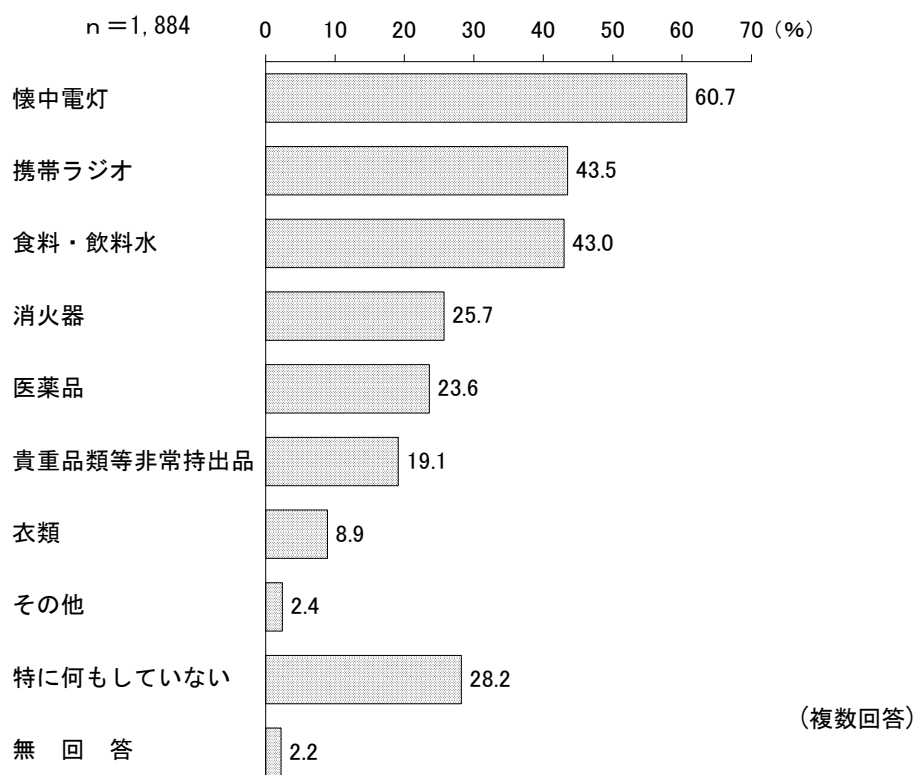
居住地域別にみると、『思えない』は本庁管内（中央地域）で5割台半ばを占め、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で3割台半ばと比較的高くなっている。（図 6-17-3）

## 6-18 災害に対する準備

◇「懐中電灯」が約6割と突出

問36 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。  
(○はいくつでも)

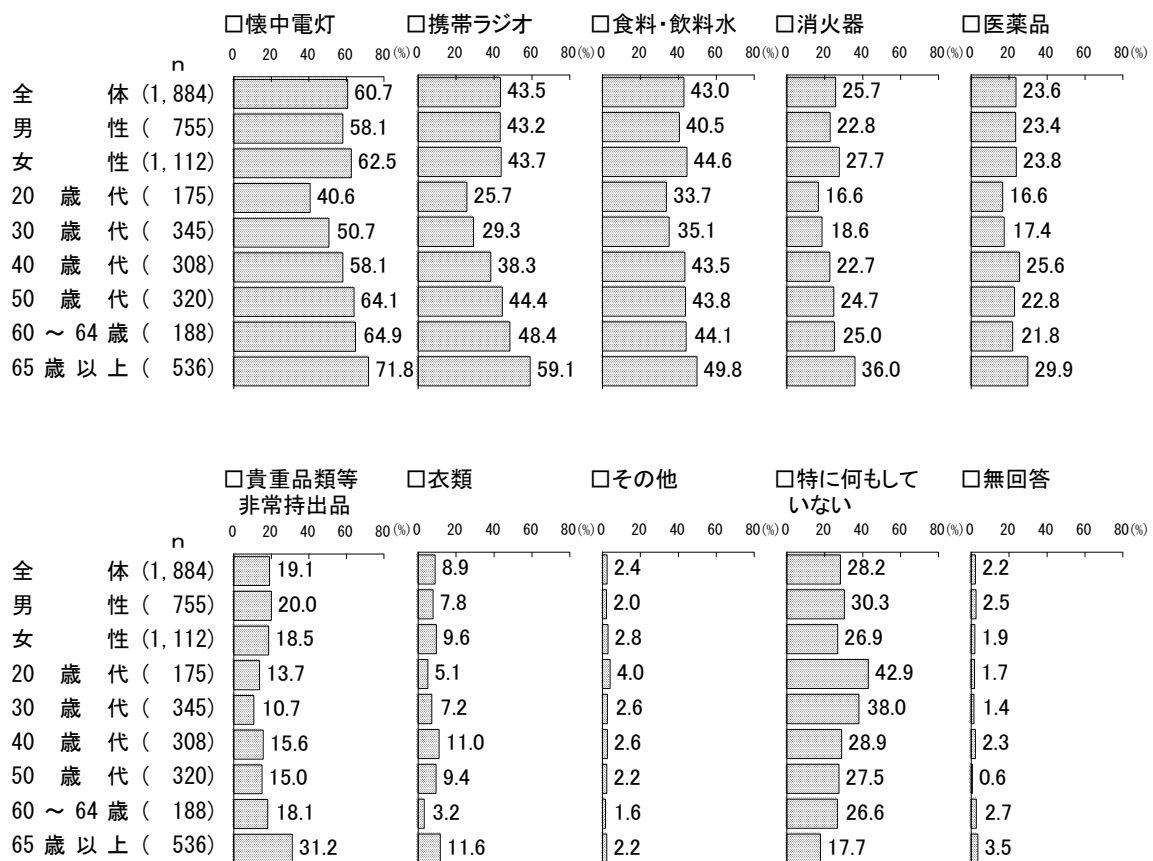
図6-18-1



大地震等の災害に備えた準備についてきいたところ、「懐中電灯」が約6割（60.7%）と最も高く、  
ついで「携帯ラジオ」（43.5%）、「食料・飲料水」（43.0%）、「消火器」（25.7%）の順が続いている。

(図6-18-1)

図 6-18-2 災害に対する準備—性別・年齢別



性別にみると、「消火器」は女性のほうが4.9ポイント高くなっている。

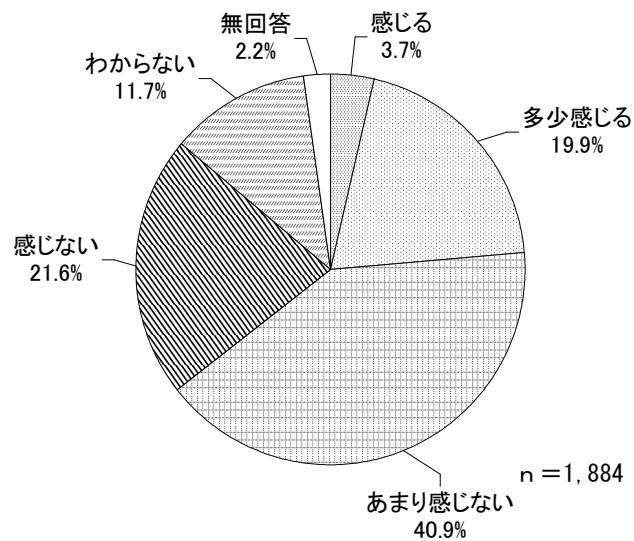
年齢別にみると、「懐中電灯」、「携帯ラジオ」、「食料・飲料水」、「消火器」は、年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にある。これに対して、「何もしていない」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代は4割強（42.9%）と高くなっている。（図 6-18-2）

## 6-19 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割強

問37 あなたは、本市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

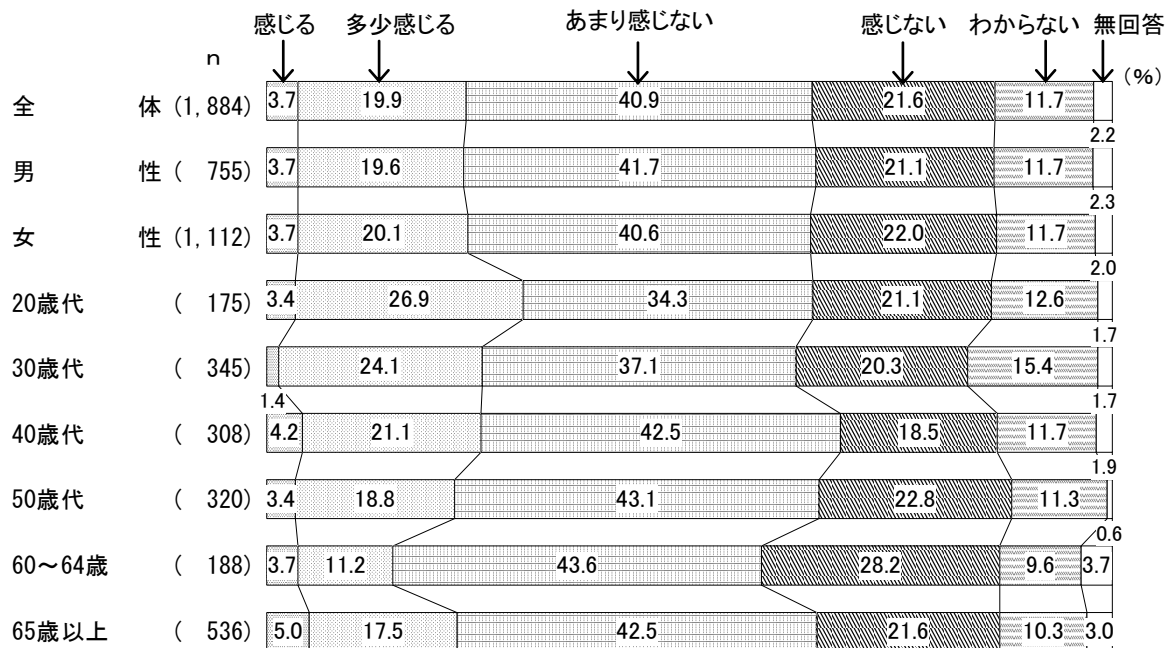
図6-19-1



八王子市がにぎわいと活力があるまちであると感じるか聞いたところ、「あまり感じない」が約4割(40.9%)と最も高く、「感じない」(21.6%)を合わせた『感じない』は6割強(62.5%)である。「感じる」(3.7%)と「多少感じる」(19.9%)を合わせた『感じる』は2割強(23.6%)となっている。

(図6-19-1)

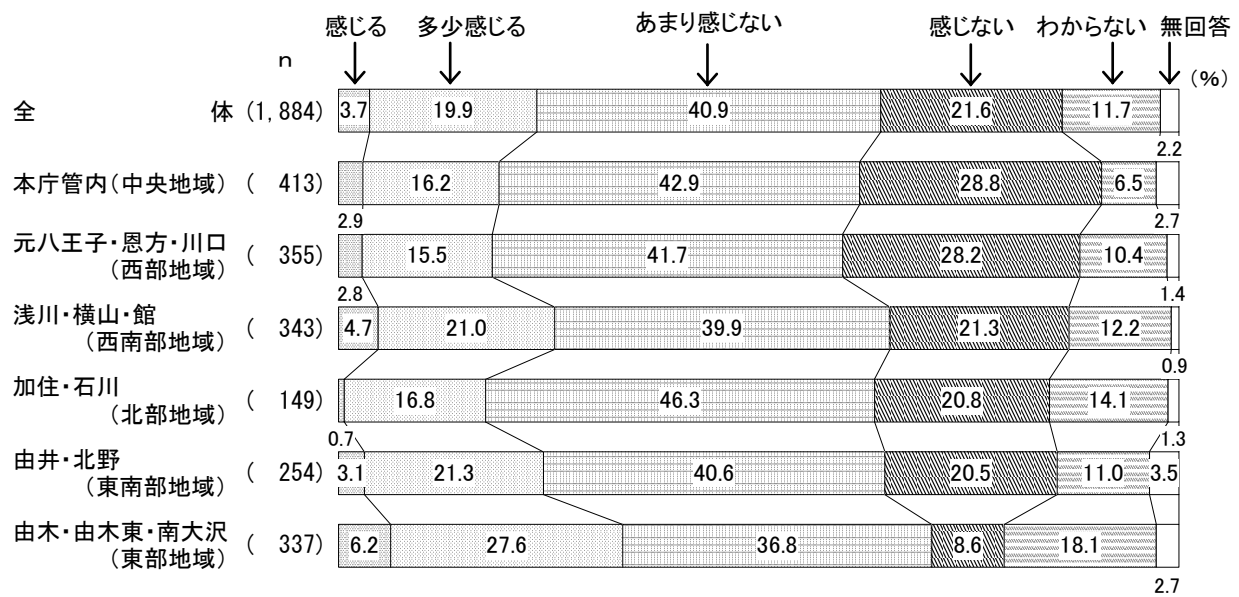
図6-19-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『感じる』は20歳代で約3割と高くなっている。(図6-19-2)

図 6-19-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割強（33.8%）と最も高く、一方で『感じない』は本庁管内（中央地域）で7割強（71.7%）と最も高くなっている。

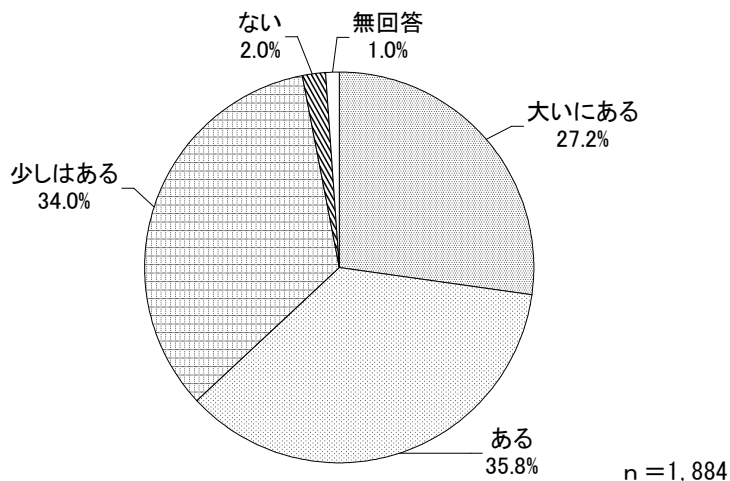
（図 6-19-3）

## 6-20 環境問題への関心度

◇環境問題に関心が『ある』人は9割台半ば

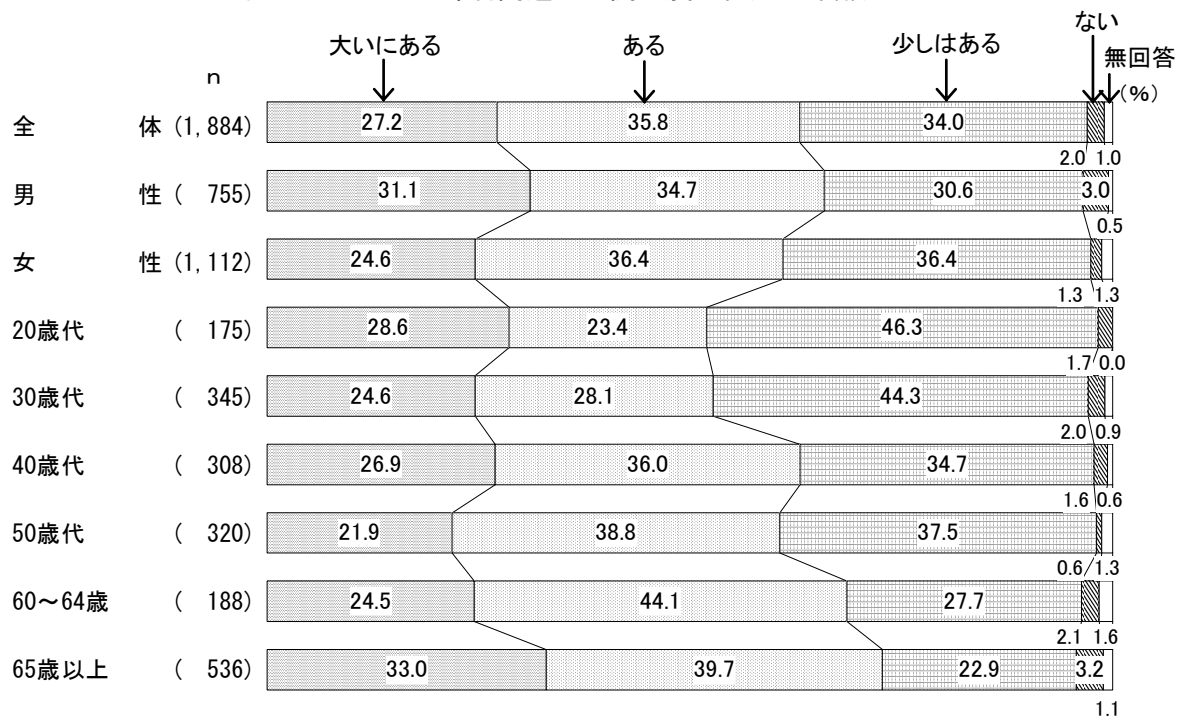
問38 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

図6-20-1



環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「大いにある」が2割台半ば（27.2%）、「ある」（35.8%）と「少しはある」（34.0%）が3割台半ばとなっていて、3項目を合わせた『ある』は9割台半ば（97.0%）と高くなっている。一方で「ない」はわずか2.0%となっている。（図6-20-1）

図6-20-2 環境問題への関心度－性別・年齢別

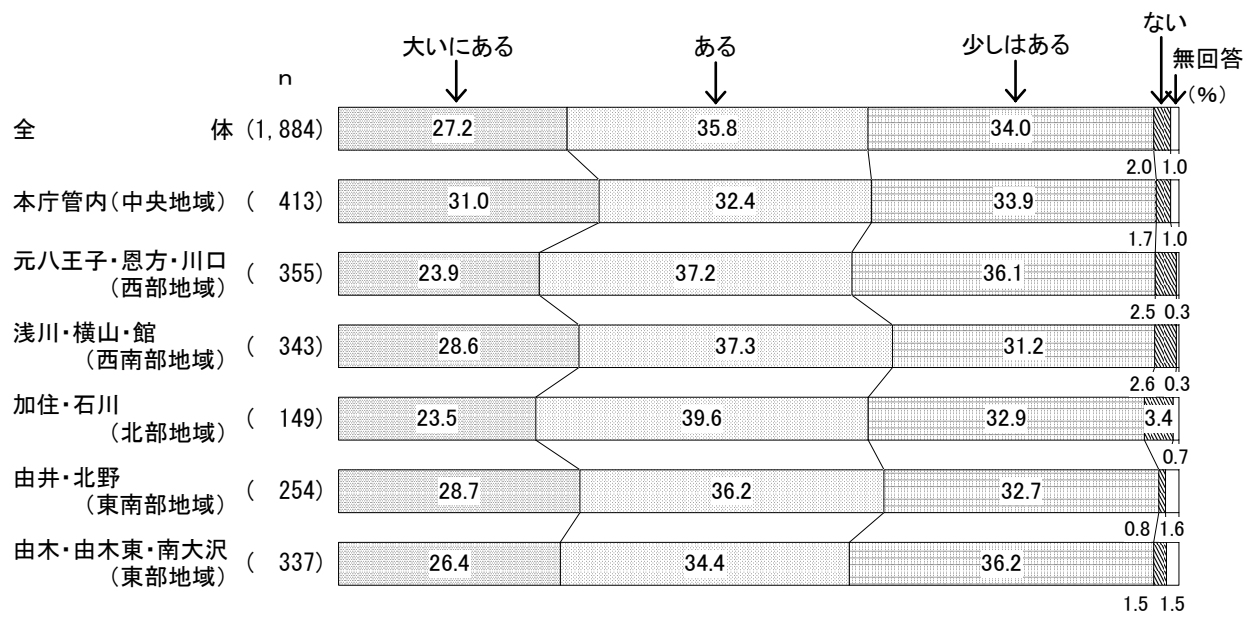


性別にみると、男性のほうが「大いにある」と「ある」の計が4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「大いにある」と「ある」の計は65歳代以上で7割強と最も高くなっている。

（図6-20-2）

図 6-20-3 環境問題への関心度－居住地域別



居住地域別にみると、「大いにある」は本庁管内（中央地域）で3割強と高くなっている。

(図 6-20-3)

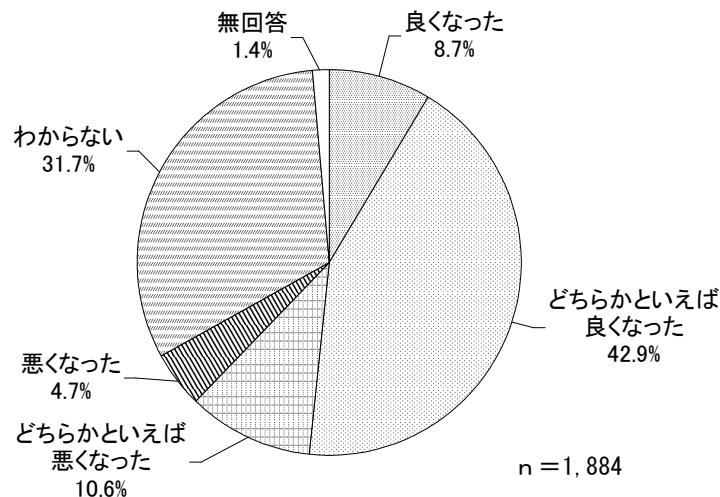


## 6-21 市の現在の環境

### ◇『良くなった』が5割強

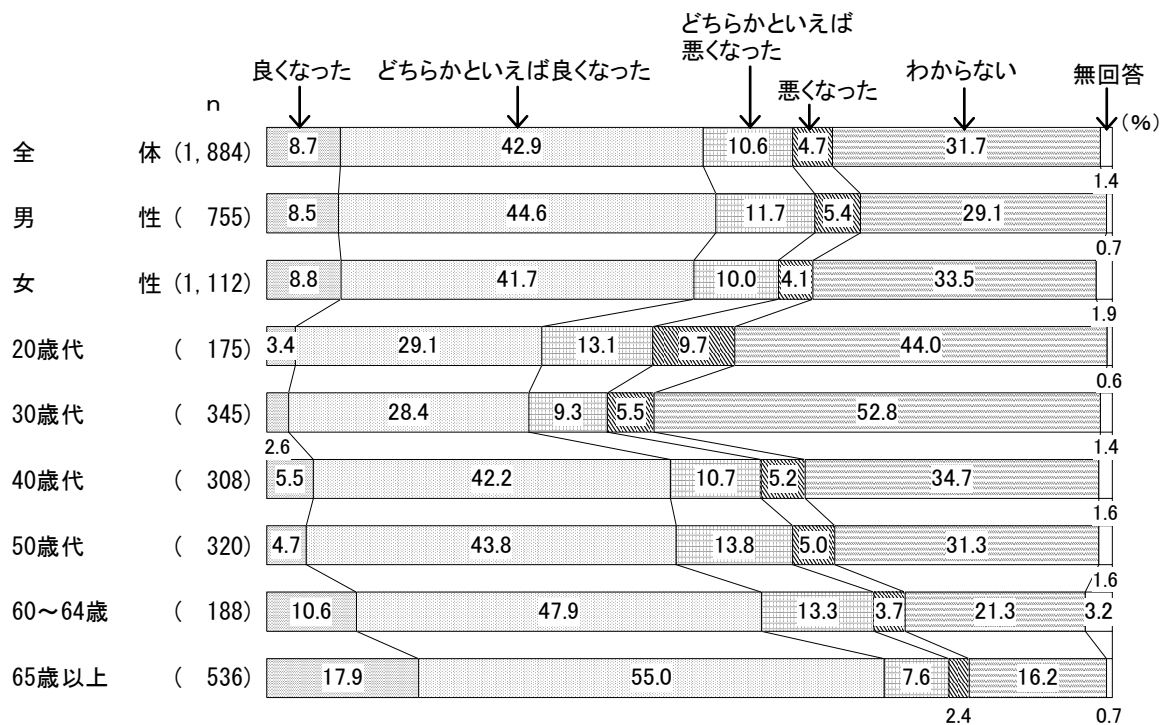
問39 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べてどうなったと感じていますか。（○は1つだけ）

図6-21-1



市の環境が以前と比べてどうなったと感じるか聞いたところ、「良くなった」（8.7%）と「どちらかといえば良くなった」（42.9%）を合わせた『良くなった』は5割強（51.6%）となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」（10.6%）と「悪くなった」（4.7%）を合わせた『悪くなった』は1割台半ば（15.3%）となっている。（図6-21-1）

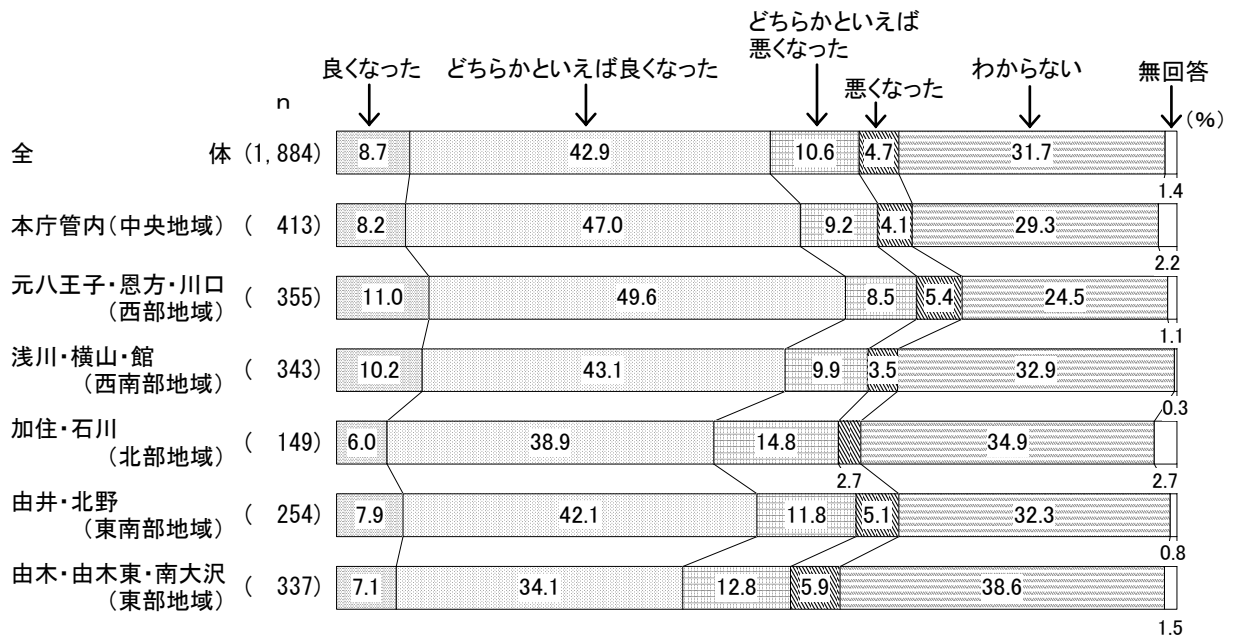
図6-21-2 市の現在の環境—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが『良くなった』で2.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、65歳以上で7割強（72.9%）と最も高くなっている。（図6-21-2）

図 6-21-3 市の現在の環境－居住地域別



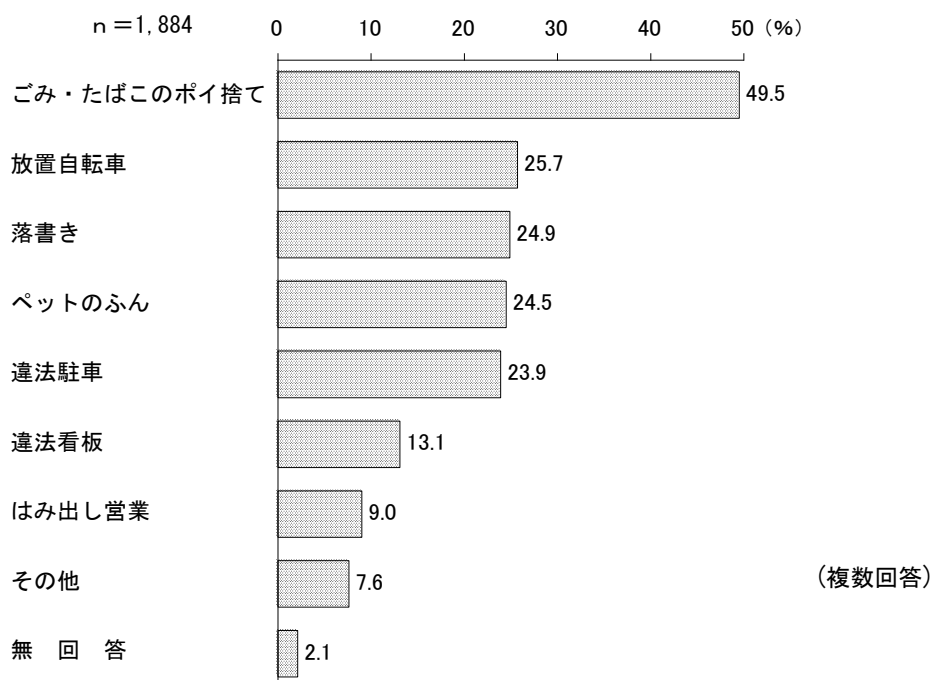
居住地域別にみると、『良くなった』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で約 6 割（60.6%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で 4 割強（41.2%）と低くなっている。（図 6-21-3）

## 6-22 都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割弱で突出

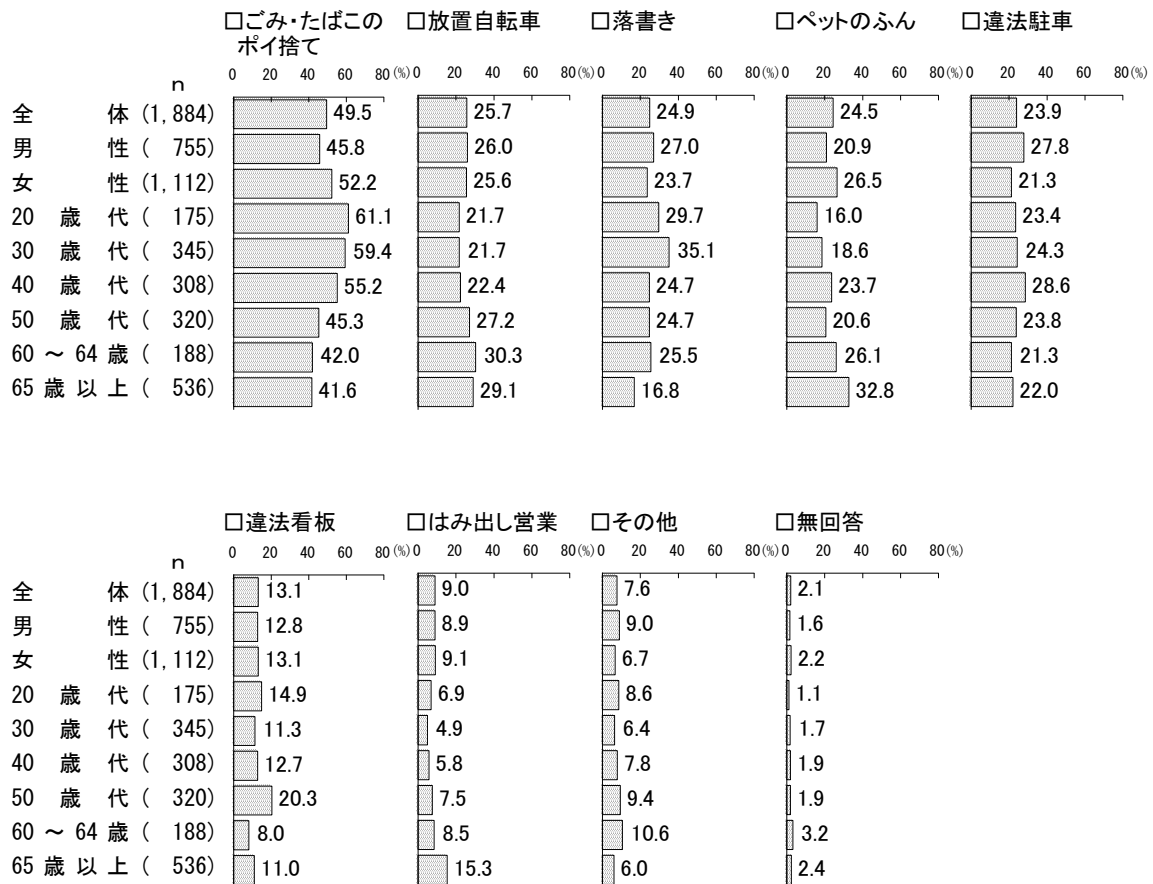
問40 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。（○は2つまで）

図6-22-1



都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割弱（49.5%）と最も高く、ついで「放置自転車」（25.7%）、「落書き」（24.9%）、「ペットのふん」（24.5%）の順で続いている。（図6-22-1）

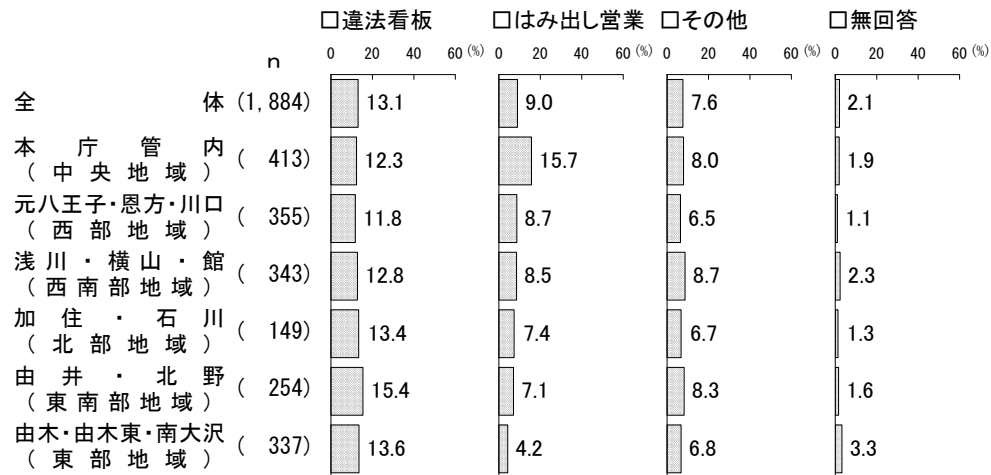
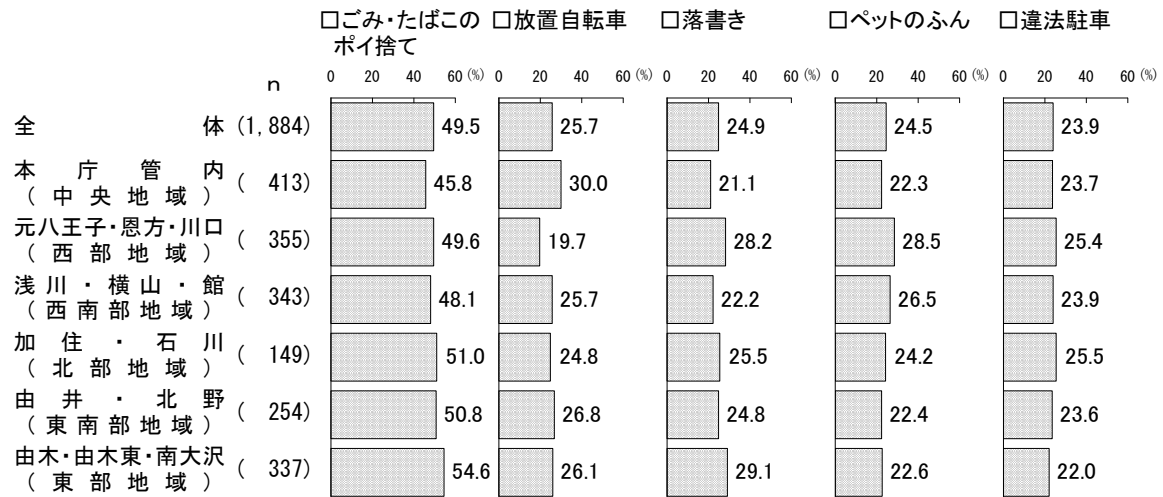
図 6-22-2 都市の美観が損なわれる原因－性別・年齢別



性別にみると、「違法駐車」は男性のほうが6.5ポイント高く、「ゴミ・たばこのポイ捨て」は女性のほうが6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ゴミ・たばこのポイ捨て」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、30歳代以下では6割前後と特に高くなっている。「ペットのふん」は50歳代を除き、年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にあり、65歳以上では3割強（32.8%）を占めている。（図 6-22-2）

図 6-22-3 都市の美観が損なわれる原因－居住地域別



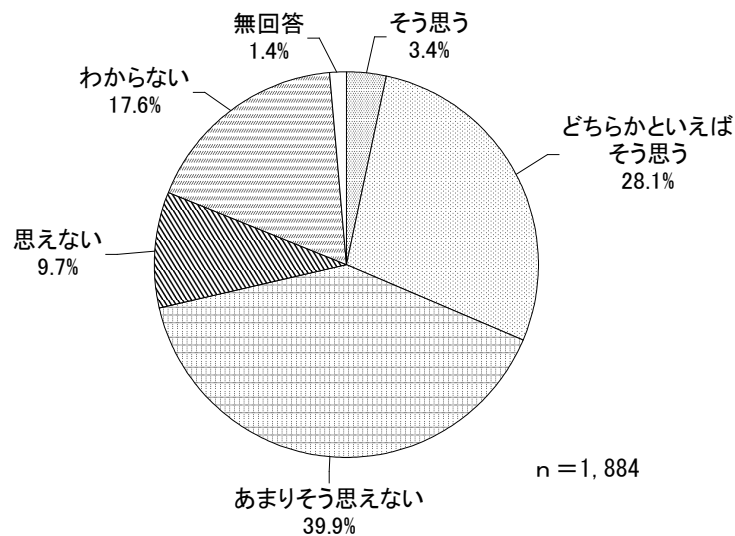
居住地域別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は由木・由木東・南大沢（東部地域）、加住・石川（北部地域）、由井・北野（東南部地域）で5割以上と高くなっている。（図 6-22-3）

## 6-23 市は美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が約5割

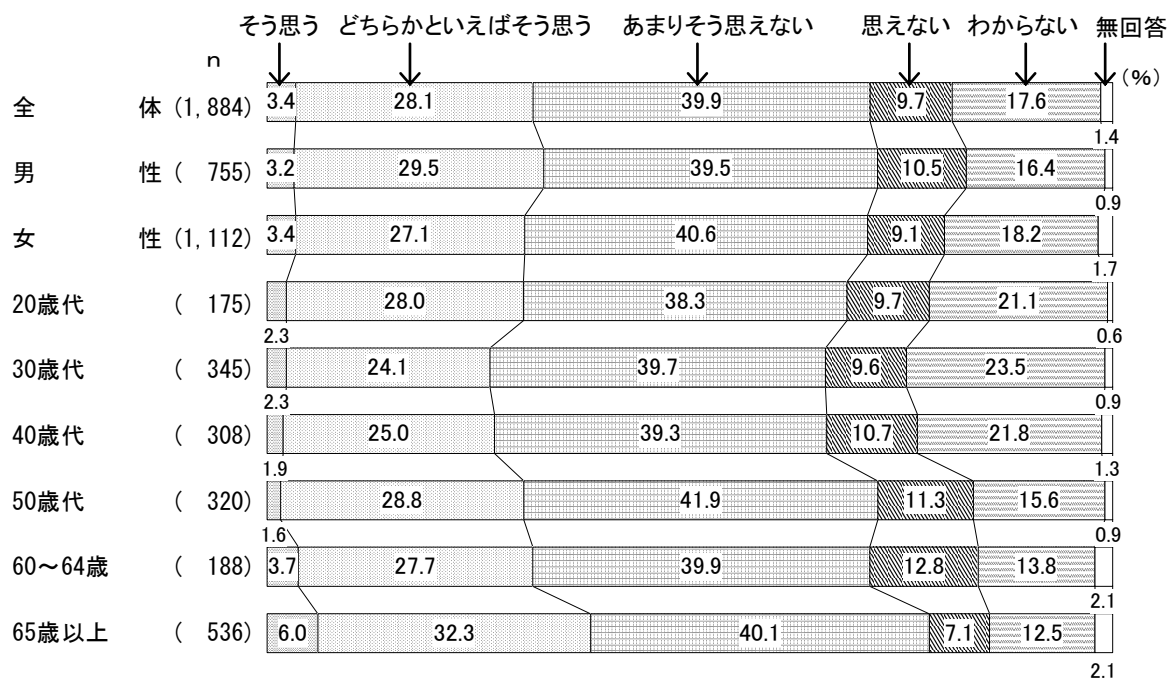
問41 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-23-1



八王子市は美観が保持されたまちだと思うかどうか聞いたところ、「あまりそう思えない」が約4割(39.9%)と最も高く、「思えない」(9.7%)と合わせた『思えない』が約5割(49.6%)となっている。(図6-23-1)

図6-23-2 市は美観が保持されたまちだと思うかー性別・年齢別

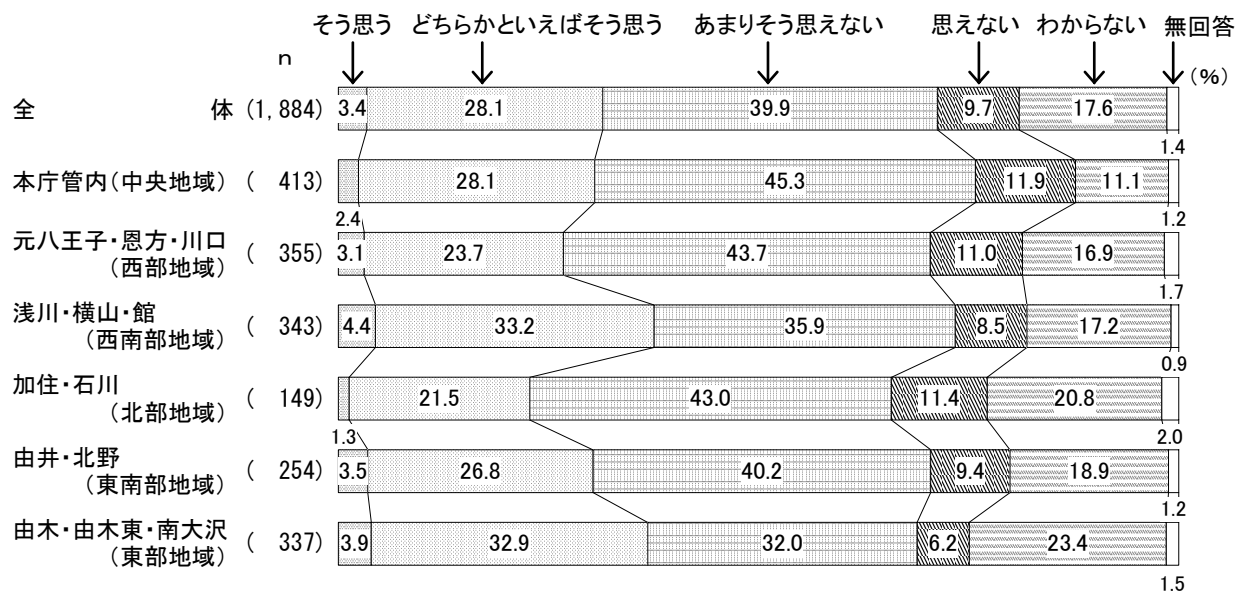


性別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、男性のほうが2.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代を除き、年齢が高くなるほど『そう思う』の割合が増加している。

(図6-23-2)

図 6-23-3 市は美観が保持されたまちだと思うかー居住地域別



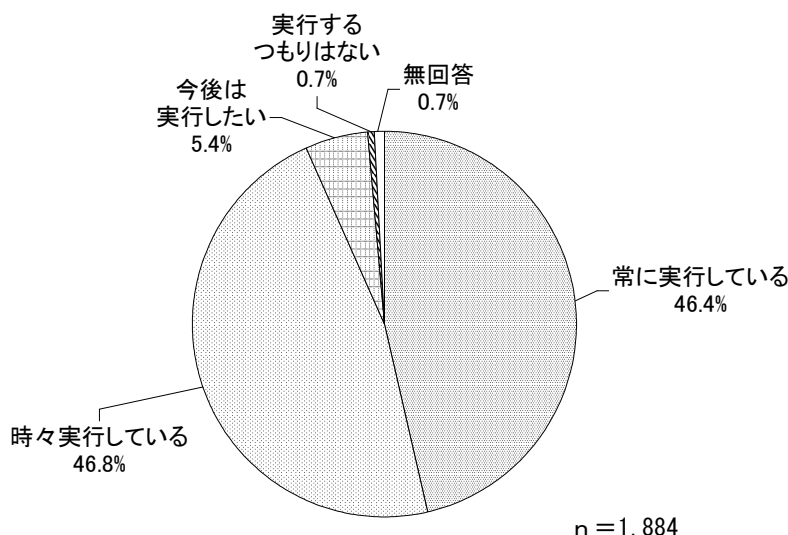
居住地域別にみると、『そう思う』は浅川・横山・館（西南部地域）が4割弱（37.6%）で最も高く、加住・石川（北部地域）が2割強（22.8%）で最も低くなっている。（図 6-23-3）

## 6-24 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が9割強の大多数

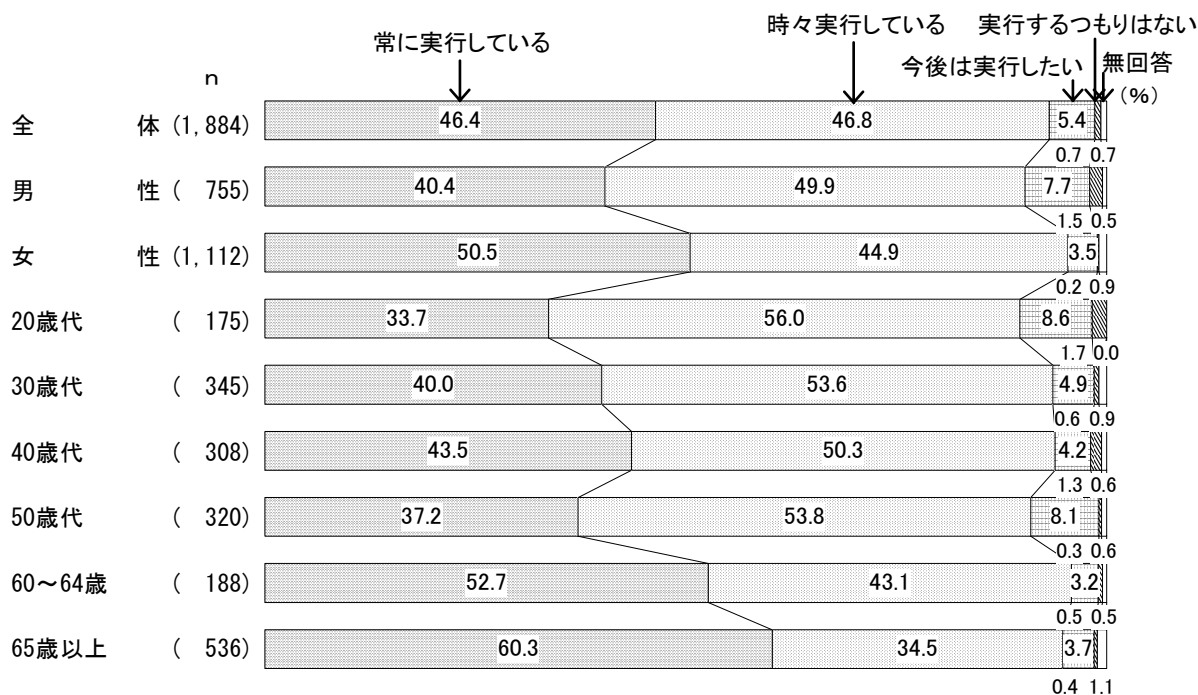
問42 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

図6-24-1



省エネ・省資源の実行について聞いたところ、「時々実行している」(46.8%)と「常に行っている」(46.4%)が4割台半ばで、両者合わせた『実行している』は9割強(93.2%)と高くなっている。(図6-24-1)

図6-24-2 省エネ・省資源を実行しているかー性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「常に行っている」が10.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳代以降年齢が高くなるほど「常に行っている」割合が増加する傾向がみられる。(図6-24-2)



